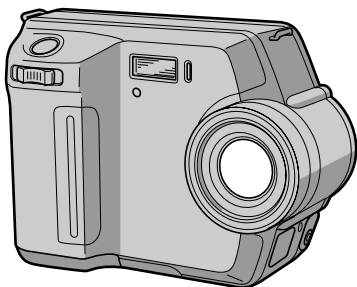
3-073-074-**03** (1)

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Mavica

MVC-FD100/FD200

必ずお読みください

本機はフロッピーディスクや“メモリースティック”をメディアとして使用するデジタルスチルカメラです。使用できるフロッピーディスクや“メモリースティック”については、86、87ページをご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像の撮影内容の補償については、ご容赦ください。

“メモリースティック”の画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700、DSC-D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、フロッピーディスクや“メモリースティック”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。結露が起きたときは、86ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

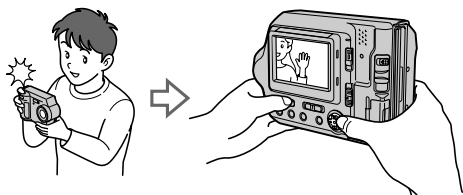
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

長時間使用時のご注意

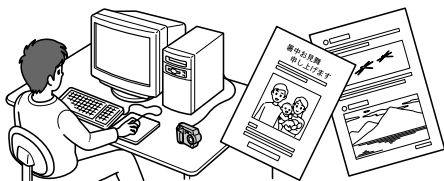
本体が熱くなることがありますのでご注意ください。

こんなことができます

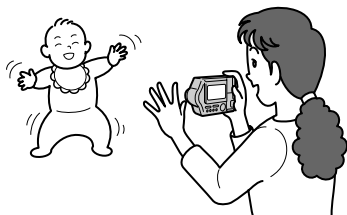
撮影した画像をすぐに確認できます

静止画を撮る：16ページ
静止画を見る：23ページ
画像を消す：78ページ

パソコンに取り込めます

撮影した画像を付属のUSBケーブルを使ってパソコンに取り込み、パソコンのソフトウェアを使って、画像を加工したり、Eメールに添付したりできます。

パソコンで画像を見る：26ページ
Eメールに適した静止画を撮る：64ページ

動画を撮影できます

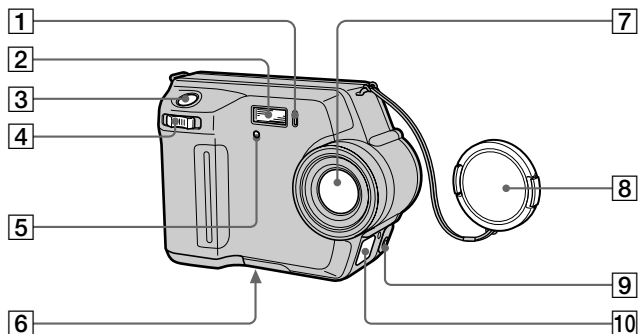
最大60秒の動画を撮影できます。音声は記録されません。

動画を撮る：21ページ

状況に応じた撮影方法を選べます

クリップモーションを作成する：62ページ
書類などの文字を撮る：65ページ
画像に圧縮をかけないで撮る：66ページ

目次

各部のなまえを確認する

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

1 **セルフタイマーランプ**（20）

2 **フラッシュ**（20）

3 **シャッターボタン**（16、21）

4 **ズームレバー**（18）

5 **調光窓**
撮影時にふさがないようにする。

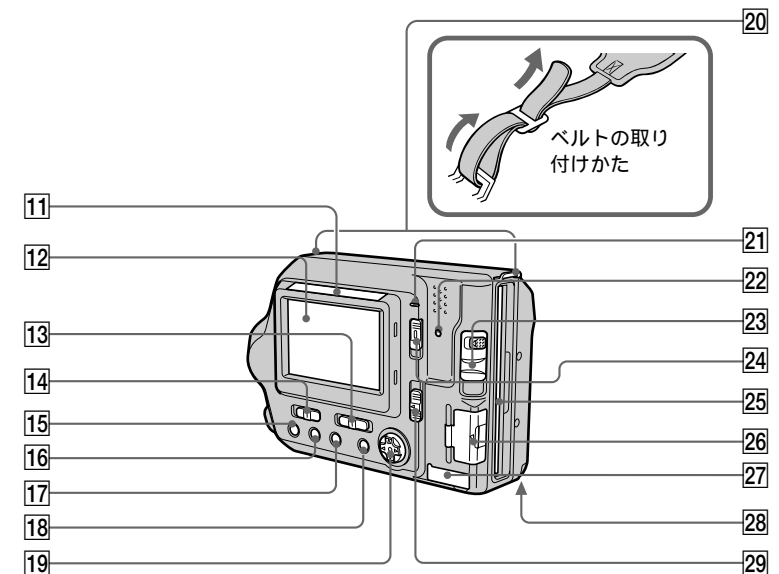
6 **三脚用ネジ穴（底面）**
ネジの長さが5.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

7 **レンズ**

8 **レンズキャップ（付属）**

9 VIDEO（ビデオ） OUT（アウト）**端子**（76）

10 DC IN（ディーシー イン）**端子カバー**／DC IN（ディーシーイン）**端子**（8、11）

各部のなまえを確認する（つづき）

11 **外光取入窓**
太陽光などが入ると液晶画面がより明るくなります。

12 **液晶画面**

プレイ　スチル　ムービー
13 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチ**（16、21、23、51）

エルシーディー バックライト
14 LCD BACKLIGHT**スイッチ**（18）

15 **ϟ（フラッシュ）ボタン**／**ϟ（フラッシュ）ランプ**（20）

フォーカス
16 FOCUS**ボタン**（67）

プログラム　エーイー
17 PROGRAM AE**ボタン**（68）

ディスプレイ
18 DISPLAY**ボタン**（19）

19 **コントロールボタン**（12、51）

20 **ベルト取り付け部**

パワー　オン　オフ　チャージ
21 POWER ON/OFF（CHG）**ランプ**（9、12）

22 **アクセスランプ**（16、17）

ディスク　イジェクト
23 DISK EJECT**レバー**（14）

パワー
24 POWER**スイッチ**（12）

25 **フロッピーディスク挿入口**（14）

26 **“メモリースティック”カバー**／**“メモリースティック”挿入口**（15）

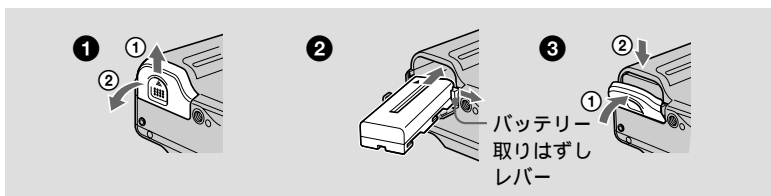
ユーエスビー　ユーエスビー
27 USB**端子カバー**／USB**端子**（30）

28 **バッテリーカバー**（7）

メモリースティック フロッピーディスク
29 MS/FD**スイッチ**

電源を準備する

バッテリーを本体に入れる

本機の電源には“インフォリチウム”バッテリー*（Lシリーズ）NP-F330（付属）／F550（別売り）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。
“インフォリチウム”バッテリーについて、詳しくは88ページをご覧ください。

❶ **バッテリーカバーを開ける。**

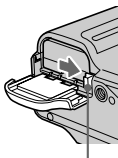
矢印の方向に開けます。

❷ **バッテリーを入れる。**

バッテリー取りはずしレバーを矢印の方向に押しながら、バッテリーの▲マークを奥にして入れます。

❸ **バッテリーカバーを閉める。**

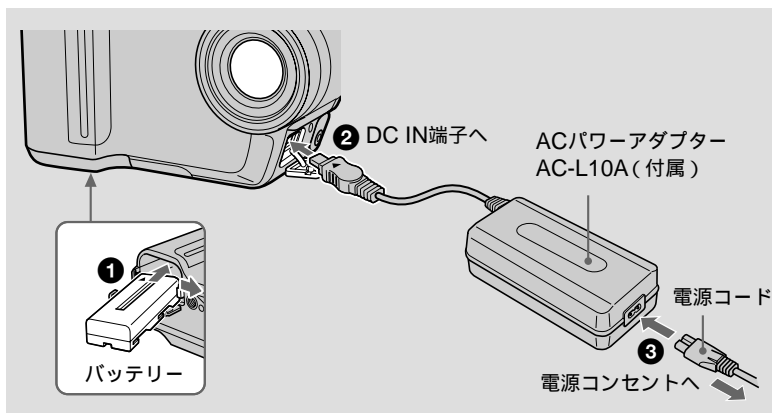
バッテリーを取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしレバーをずらして取り出してください。
取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー取りはずしレバー

* InfoLITHIUM L SERIES（“インフォリチウム”）**バッテリーとは**

“インフォリチウム”に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータ通信を行うことができるバッテリーです。本機は“インフォリチウム”対応です。“InfoLITHIUM（インフォリチウム）”はソニー株式会社の商標です。

バッテリーを充電する

本機の電源が入っていると、バッテリーを充電できません。
必ず本機の電源を切っておいてください。

❶ **バッテリーを本体に入れる。**

❷ **DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❸ **電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。**
充電が始まると、液晶画面の右のPOWER ON/OFF（CHG）ランプがオレンジ色に点灯します。
充電が終わると、POWER ON/OFF（CHG）ランプが消えます（**満充電**）。

バッテリーの充電が終わったら
ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

バッテリー残量時間表示
撮影／再生できる残り時間を液晶画面に表示します。
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
室温10°C～30°Cで充電することをおすすめします。

バッテリーNP-F330（付属）／F550（別売り）について

寒冷地での撮影や液晶画面を使っての撮影では使用時間が短くなります。寒冷地でお使いになる場合は、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本機に取り付けてください。カイロをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

充電中のPOWER ON/OFF（CHG）ランプについて

以下の場合、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点滅することがあります。
- バッテリーが故障しているとき（93ページ）

以下の場合、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点灯しません。
- バッテリーが正しく取り付けられていないとき

充電時間

バッテリー	満充電時間
NP-F330（付属）	約150分
NP-F550	約210分

使い切ったバッテリーを温度25℃の環境でACパワーアダプターAC-L10A（付属）で充電したときの時間です。

撮影／再生可能枚数とバッテリーの使用時間

次の表は撮影モードを通常撮影にし、LCD BACKLIGHTスイッチを「ON」にして、充電したバッテリーで温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、以下の枚数はフロッピーディスク、または“ メモリースティック ”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ただし、標準撮影は“ メモリースティック ”使用時のみの値です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影[*1)]

画像サイズ	NP-F330（付属）		NP-F550（別売り）	
	撮影枚数	使用時間	撮影枚数	使用時間
1600×1200（MVC-FD200）	約150枚	約75分	約340枚	約170分
1280×960（MVC-FD100）	約150枚	約75分	約340枚	約170分

*1) 以下の設定で撮影
- 30秒ごとに1回撮影
- 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
- 2回に1度、フラッシュを発光
- 10回に1度、電源を入／切する

電源を準備する（つづき）

連続撮影[*2)]

記録方法	NP-F330（付属）		NP-F550（別売り）	
	撮影枚数	使用時間	撮影枚数	使用時間
フロッピーディスク	約750枚	約70分	約1600枚	約150分
“ メモリースティック ”	約1600枚	約80分	約3400枚	約170分

*2) 以下の設定で撮影
－画像サイズを640×480に設定する
－フラッシュを ⓕ（発光禁止）にする
－フロッピーディスク使用時は約5秒、“ メモリースティック ”使用時は約3秒ごとに撮影

静止画を再生[*3)]**するとき**

記録方法	NP-F330（付属）		NP-F550（別売り）	
	撮影枚数	使用時間	撮影枚数	使用時間
フロッピーディスク	約2200枚	約80分	約4800枚	約170分
“ メモリースティック ”	約3000枚	約100分	約6900枚	約230分

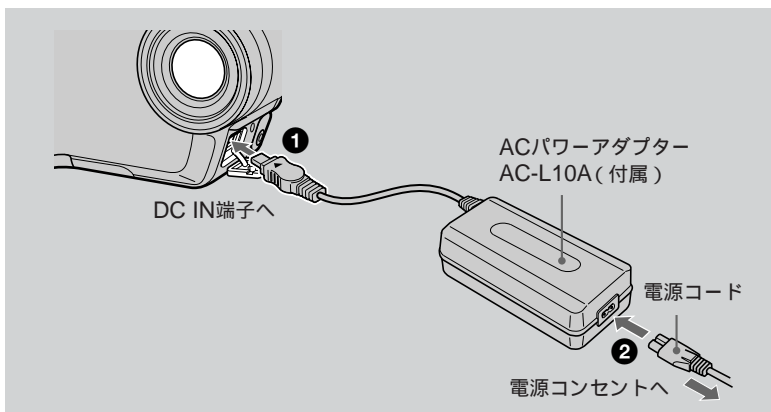
*3) 約2秒ごとにシングル画面で順番に再生

動画を撮影するとき
連続撮影（画像サイズを160×112に設定した場合）

記録方法	使用時間	
	NP-F330（付属）	NP-F550（別売り）
フロッピーディスク	約85分	約180分
“ メモリースティック ”	約90分	約190分

ご注意

低温で使用したり、フラッシュを使った操作、電源の入／切、ズームを繰り返すと、使用時間は短く、撮影／再生枚数は少なくなります。

外部電源を使用する

❶ **DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

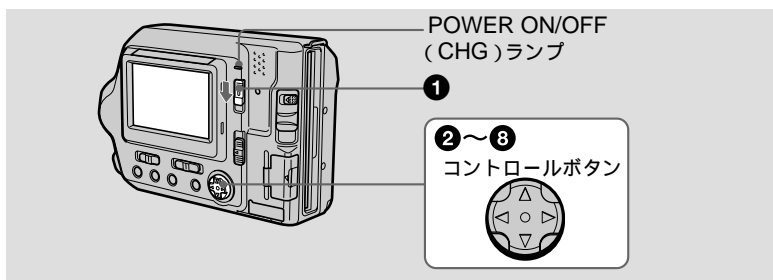
❷ **電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。**

海外でも充電できます
詳しくは99ページをご覧ください。

ACパワーアダプターは
コンセントの近くでお使いください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

ご注意
ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

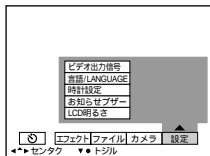
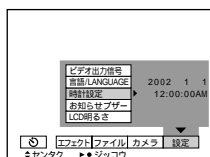
日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに日付設定画面が表示されます。

❶ 緑のボタンを押しながらPOWERスイッチを矢印の方向にずらして、電源を入れる。

POWER ON/OFF（CHG）ランプが緑色に点灯します。

❷ コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが表示されます。

❸ コントロールボタンの▶で［設定］を選び、中央の●を押す。

❹ コントロールボタンの▲/▼で［時計設定］を選び、中央の●を押す。

❺ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す。

［年/月/日］［月/日/年］［日/月/年］の中から選びます。

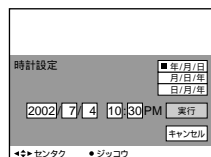
❻ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ。

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

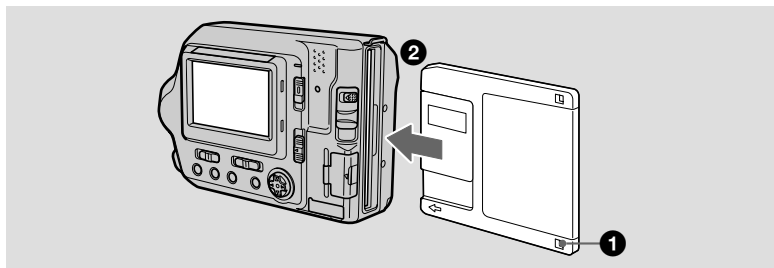
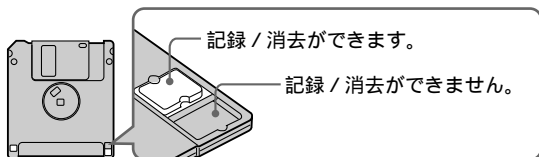
❼ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す。

数値が確定され、次の項目に移ります。
手順❺で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

❽ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、時報と同時に中央の●を押す。

日付・時刻が設定されます。

中止するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

フロッピーディスクを入れる

❶ **撮影するときは、誤消去防止タブが記録／消去できる位置になっているか確認する。**

❷ **フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。**

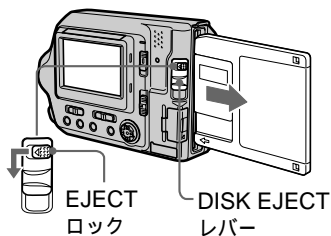
使えるフロッピーディスク

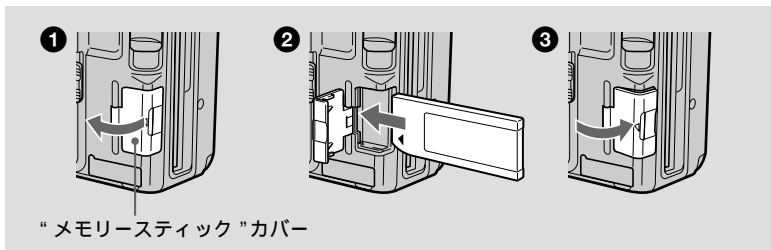
- サイズ：3.5インチ
- タイプ：2HD（1.44Mバイト）
- フォーマット：MS-DOS（DOS/V）フォーマット（512バイト×18セクタ）

ご注意

- 上記以外のメディアは挿入しないでください。
- メモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M/FD2MAはお使いになれません。
- アクセスランプが点灯しているときは、データの読み込み、または書き込みを行っています。絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったり、MS/FDスイッチを切り換えたりしないでください。画像データが壊れることがあります。

フロッピーディスクを取り出す

EJECTロックを左側にずらしたまま、DISK EJECTレバーを下にずらしてください。

“ メモリースティック ”を入れる

“ メモリースティック ”について、詳しくは87ページをご覧ください。

❶ “ メモリースティック ”カバーを開ける。

❷ “ メモリースティック ”を入れる。

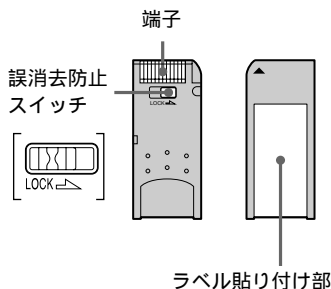
“ メモリースティック ”の▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込む。

❸ “ メモリースティック ”カバーを閉める。

“ メモリースティック ”を取り出す

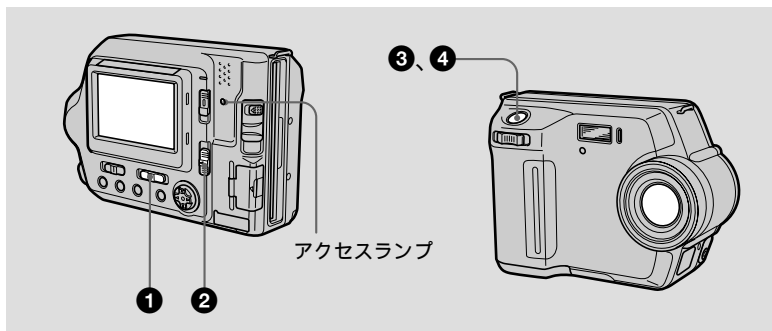
“ メモリースティック ”カバーを開け、“ メモリースティック ”を軽く1回押して取り出してください。

ご注意

- “ メモリースティック ”を入れるときは、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まれないと「メモリースティックエラー」などが表示されます。
- アクセスランプが点灯しているときは、データの読み込み、または書き込みを行っています。絶対に“ メモリースティック ”を取り出したり、電源を切ったり、MS/FDスイッチを切り換えたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や画像編集ができません。

誤消去防止つまみの位置や形状は、お使いの“ メモリースティック ”によって異なることがあります。

“Memory Stick”(“ メモリースティック ”) および MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。

静止画を撮る

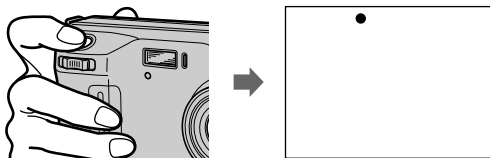
静止画をJPEG（ジェイペグ）形式で記録します。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れておきます。

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」にする。**

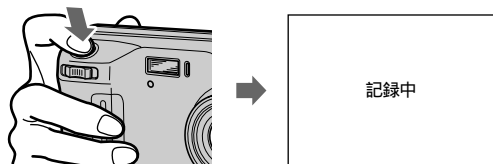
❷ **MS/FDスイッチで記録するメディアを選ぶ。**

MS：“ メモリースティック ”に記録するとき
FD：フロッピーディスクに記録するとき

❸ **シャッターを軽く押す。**

このときはまだ、撮影されていません。
本機は被写体と撮影状況に合わせて露出・フォーカスを自動調節しています。自動調節が終わると、ピピッと音がして点滅していたAE/AFロック表示が点灯に変わります。**点灯すると撮影可能です。**
このときシャッターを離すと、撮影を中止します。

AE/AF**ロック表示（緑）が点滅 → 点灯**

❹ シャッターを深く押し込む。

カシャと音がして、撮影されます。
画面に「記録中」と表示され、画像がフロッピーディスクまたは“メモリースティック”に記録されます。
「記録中」の文字が消えると、次の撮影ができます。

フロッピーディスクまたは“メモリースティック”1枚に記録できる枚数は
61ページをご覧ください。

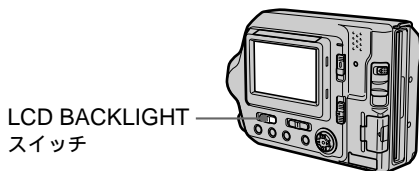
ご注意

- 明るい被写体を撮影する場合、AE/AFロック後に液晶画面の色合いが変わることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- フロッピーディスク／“メモリースティック”に書き込み中はアクセスランプが点灯します。点灯中は、本機に振動や強い衝撃を絶対に与えないでください。また、電源を切ったり、フロッピーディスク／“メモリースティック”やバッテリーを取り出したり、MS/FDスイッチを切り換えたりしないでください。画像データが壊れたり、フロッピーディスク／“メモリースティック”が使えなくなることがあります。
- シャッターをそのまま押し込んだ場合は、自動調節後撮影します。ただし、以下のときには撮影できません。
  – フラッシュが必要な撮影状況で、ϟ（フラッシュ）ランプ（6ページ）が点滅しているとき

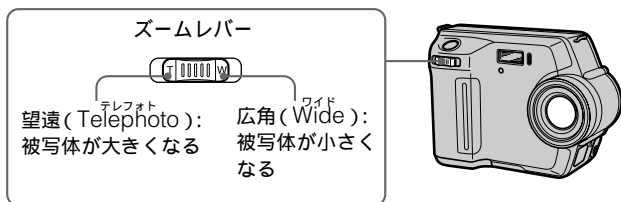
最後に撮影した画像を確かめる（クイックレビュー）

メニューバーを消し（52ページ）、コントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影した画像が表示されます。
通常の撮影モードに戻るには：シャッターボタンを軽く押す。または、画面上の［戻る］をコントロールボタンの◀/▶で選び、中央の●を押す。
画像を削除するには：画面上の［削除］をコントロールボタンの◀/▶で選び、中央の●を押し、さらに［実行］を選んでから●を押す。

液晶画面の明るさを調節する

メニューの［LCD明るさ］で調節します（59ページ）。
フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に書き込まれる画像の明るさには影響ありません。

液晶バックライトを消すには

バッテリーを長持ちさせたいときは、LCD BACKLIGHTスイッチを「OFF」にしてください。

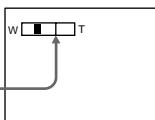
ズームする

近くの被写体にピントがうまく合わないときは

ズームレバーをW側に動かして広角にし、本機を被写体に近づけて撮影してください（67ページ）。

ピントを合わせるために必要な被写体までの距離は

W側：約25 cm以上
T側： 約80 cm以上
さらに近くを撮影するときは、67ページをご覧ください。

本機はデジタルズーム機能を搭載しています

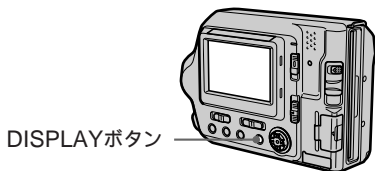
デジタルズームは、画像をデジタル処理して拡大します。ズームが3倍を超えるとデジタルズームになります。

デジタルズームを使うと

- ズーム最大倍率は6倍になります。
- 画質は低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで[デジタルズーム]を[切]にします(57ページ)。

ご注意

デジタルズームは動画撮影には使えません。

撮影中の画面上の表示

DISPLAYボタンを押すと、画面上の表示を出したり、消したりできます。
表示される項目について詳しくは、100ページをご覧ください。

ご注意

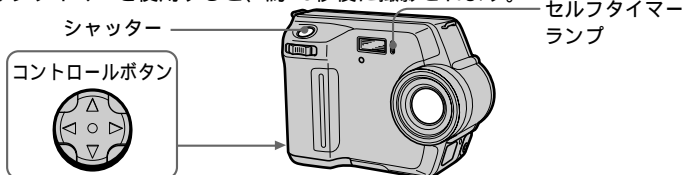
- セルフタイマー表示と応用操作での一部の表示は消すことができません。
- 画面上の表示は記録されません。

オートパワーオフ機能

バッテリー使用時、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。そのまま使いたいときは、POWERスイッチを下にずらして電源を入れ直してください。

静止画を撮る（つづき）

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを使用すると、約10秒後に撮影されます。

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画面上の🕐を選び、中央の●を押します。画面に🕐（セルフタイマー）が表示され、シャッターを押してから約10秒後に撮影されます。その間、セルフタイマーランプが点滅します。
セルフタイマーを中止するには、コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示し、🕐を選択して画面上の🕐を消します。

フラッシュを使って撮影する

お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されており、周囲が暗くなると自動的に発光します。「AUTO」以外に設定するときは、ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のフラッシュ表示を出します。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。
（表示なし）→👁 →ϟ →Ⓢ → （表示なし）

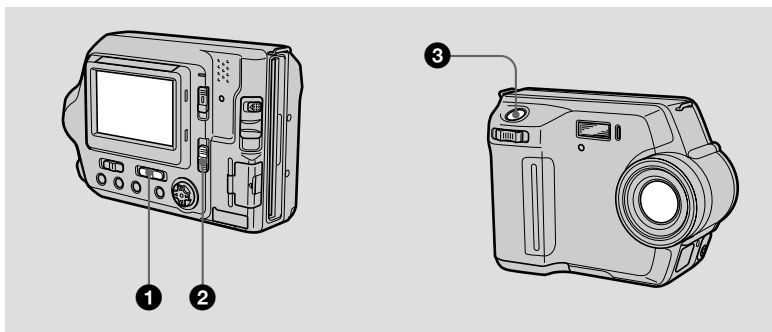
👁「AUTO赤目軽減」：撮影前に予備発光し、目が赤く写ることを抑制します。
ϟ「強制発光」：周囲の明るさに関係なく発光します。
Ⓢ「発光禁止」：発光しません。

発光量は、メニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（57ページ）。

ご注意

- メニューの[ISO]が[オート]のとき、内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.5 m～2.0 mです。
- コンバージョンレンズ（別売り）をつけていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレが出る）ことがあります。
- 赤目軽減の効果には、個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくいことがあります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

動画を撮る

動画をMPEG（エムペグ）形式で記録します。音声は記録されません。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れておきます。

❶ PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「MOVIE」にする。

❷ MS/FDスイッチで記録するメディアを選ぶ。

MS：“ メモリースティック ”に記録するとき
FD：フロッピーディスクに記録するとき

❸ シャッターを押し込む。

「録画」と表示され、動画がフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に書き込まれます。

ポンと1回押すと
5秒間録画します。
この録画時間はメニューの［記録時間］で10秒、15秒に設定できます（56ページ）。

押し続けると
押し続けている間、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの［画像サイズ］を320×240に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります（60ページ）。

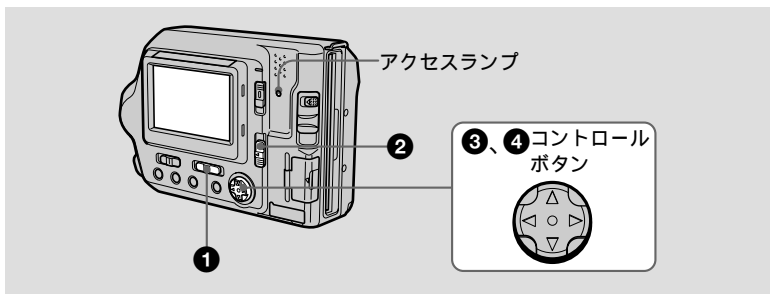
液晶画面の明るさ調節やズーム、セルフタイマーなどは

18～20ページをご覧ください。

撮影中の画面上の表示

DISPLAYボタンを押すと、画面上の表示を出したり、消したりできます。
これらの表示は記録されません。
表示される項目について詳しくは、100ページをご覧ください。

静止画を見る

POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れておきます。

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

アクセスランプが点灯し、最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ **MS/FDスイッチで再生するメディアを選ぶ。**

MS：“ メモリースティック ”の画像を再生するとき
FD：フロッピーディスクの画像を再生するとき

❸ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

❹ **コントロールボタンで静止画を選ぶ。**

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面に表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。
I◀：前の画像を見るとき
▶I：次の画像を見るとき

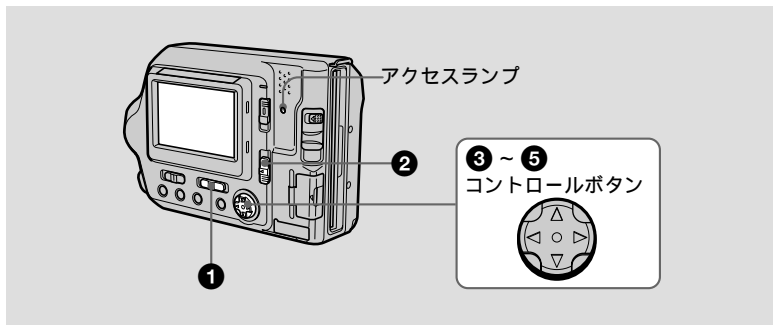
メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶことができます。

ご注意
- 本機で記録した画像は、本機以外の機器で正しく再生できないことがあります。
- 本機で記録できる最大画像サイズより大きい画像は、本機で再生できないことがあります。

静止画再生中の画面上の表示

DISPLAYボタンを押すと、画面上の表示を出したり、消したりできます。表示される項目について詳しくは、101ページをご覧ください。

動画を見る

POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れておきます。

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

アクセスランプが点灯し、最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ **MS/FDスイッチで再生するメディアを選ぶ。**

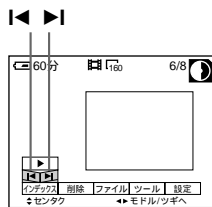
MS：“ メモリースティック ”の画像を再生するとき
FD：フロッピーディスクの画像を再生するとき

❸ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

❹ **コントロールボタンで動画を選ぶ。**

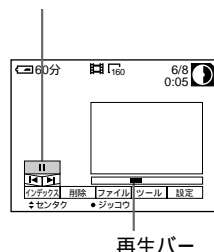
動画は静止画よりもひとまわり小さく表示されます。

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面に表示されている⏮/⏭ボタンを選び、◀/▶を押します。

⏮：前の画像を見るとき
⏭：次の画像を見るとき

5 液晶画面に表示されている▶（再生スタート）ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す。

動画が再生されます。
再生中は▶（再生スタート）ボタンが❚❚（一時停止）ボタンに変わります。

▶（再生スタート）ボタン
または❚❚（一時停止）ボタン

再生バー

再生を一時停止するには

液晶画面に表示されている❚❚ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押します。

メニューバーを表示していないときは

コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。中央の●を押すと、動画が再生されます。再生中に中央の●を押すと、一時停止します。

動画再生中の画面上の表示

DISPLAYボタンを押すと、画面上の表示を出したり、消したりできます。
表示される項目について詳しくは、101ページをご覧ください。

パソコンで画像を見る

本機で撮影した画像データを、パソコンにインストールされたソフトウェアを使って加工したり、Eメールに添付したりできます。

フロッピーディスクドライブで画像を見る

例：Windows Me**をお使いの場合**

❶ **パソコンを起動し、フロッピーディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに入れる。**

❷ **[マイコンピュータ] を開き、[**3.5 **インチ** FD (A:)] **をダブルクリックする。**

❸ **再生したいファイルをダブルクリックする。**

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名について」(39ページ)をご覧ください。
動画ファイルはパソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。フロッピーディスクから直接再生すると、動画がとぎれることがあります。

USB接続で画像を見る

ここでは付属のUSB接続ケーブルを使用して、パソコンで画像を見る場合を説明します。
USB接続ケーブルとは：本機とパソコンを接続して、パソコン側から本機のフロッピーディスクまたは“メモリースティック”内に記録されている画像ファイルを操作することができるケーブルです。
USB接続ケーブルを使うには：パソコン側に「USBドライバ」をあらかじめインストールする必要があります。
パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

Windows**をお使いの場合**(27**ページ**)
Macintosh**をお使いの場合**(34**ページ**)
パソコンを使用する時のご注意(37**ページ**)

ご注意

- 本機で撮影した画像データは以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式に対応したアプリケーションソフトがパソコンにインストールされていることをご確認ください。

– 静止画（テキストモード、非圧縮モード、クリップモーション以外）：JPEG形式
– 動画：MPEG形式
– 非圧縮モードによる静止画：TIFF形式
– テキストモード／クリップモーション：GIF形式
• アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
• レタッチソフトなどを使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合、画像形式が異なるためファイルエラー表示が出たりファイルが開けない場合があります。
• アプリケーションソフトによっては、クリップモーションの画像の1コマ目しか表示されない場合があります。

パソコンとの通信について（Windowsのみ）

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

• MicrosoftおよびWindows、Windows Media Playerは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
• MacintoshおよびMac OS、QuickTimeは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
• その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。
• 本書では、各OS名をWindows 2000 ProfessionalはWindows 2000、Windows Millennium EditionはWindows Me、Windows XP Home Edition、Windows XP ProfessionalはWindows XPとそれぞれ記載しています。

Windowsをお使いの場合

推奨Windows環境

OS： Microsoft Windows 98 、Windows 98SE、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合は、動作保証致しません。
CPU： MMX Pentium 200MHz 以上
ディスプレイ: 800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）以上
USB端子が標準で装備されていることが必要です。
Windows Media Playerがインストールされていることが必要です。(動画再生時)

パソコンで画像を見る（つづき）

ご注意

- 1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

画像を見るための操作の進め方

手順1 USBドライバをインストールする(28ページ)
初めて接続するときのみ必要な操作です。

手順2 USBケーブルで接続する(30ページ)

手順3 Windowsで画像を再生する(31ページ)

Windows XP**をお使いの場合**
USBドライバのインストールは必要ありません。本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、ドライブとして認識します。**手順2**から始めてください。

以下では、Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。

手順1 USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続する前に、お手持ちのパソコンにUSBドライバをインストールします。USBドライバは、本機に付属しているCD-ROMにアプリケーションソフトとともに収録されています。

Windows 98、Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me**をお使いの場合は**
本機とパソコンをまだ接続しないでください。USBケーブルは、USBドライバのインストールが完了してから接続してください。先にUSBケーブルを接続すると、USBドライバが正しくインストールできません。

ドライバをインストールする前にUSBケーブルを接続してしまった場合など、ドライバソフトが正常にインストールできなかったときは、「リムーバブルディスクが表示されない場合」（33ページ）をご覧ください。

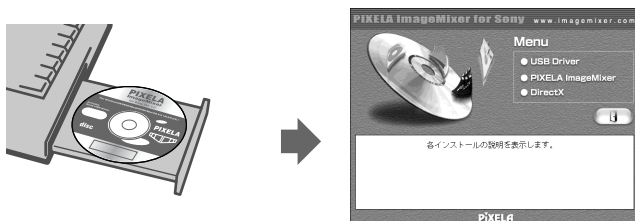
操作の前に

Windows 2000 をお使いの方は、Administrators(管理者権限)でログオンしてからインストールしてください。

❶ **パソコンの電源を入れ、**Windows**を起動する。**

パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。

❷ **付属の**CD-ROM**を、パソコンの**CD-ROM**ドライブにセットする。**

しばらくするとCD-ROMのタイトル画面が表示されます。

タイトル画面が表示されないときは

① デスクトップ画面上の「マイコンピュータ」をダブルクリックする。

② CD-ROMドライブ（「ImageMixer（E:)」）をダブルクリックする。

※ (E:)の部分は、パソコンによって異なります。

ご注意

ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16bitカラー、65 000色）以上にしてください。800×600ドット未満、256色以下ではインストールのタイトル画面が表示されません。

❸ **画面の「**USB Driver**」をクリックする。**

「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」の画面が表示されます。

❹ **画面の指示にしたがって**USB**ドライバをインストールする。**

❺ **パソコンから**CD-ROM**を取り出す。**

❻ 「はい、今すぐコンピュータを再起動します」をクリックして、「完了」をクリックする。

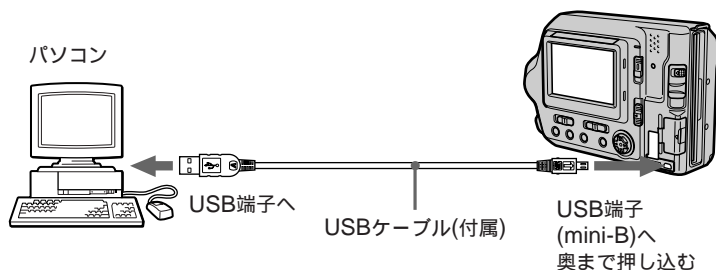
パソコンが再起動し、本機をパソコンに接続できるようになります。

手順2 USBケーブルで接続する

Windowsが起動した状態で、本機をパソコンに接続する操作を行います。

❶ 本機にフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を挿入し、MS/FDスイッチを挿入したメディアに合わせて設定する。

❷ ACパワーアダプターを接続して、本機の電源を入れる。

❸ 付属の専用USBケーブルで、本機のUSB端子(mini-B)とパソコンのUSB端子を接続する。

本機の液晶画面に「USBモード」と表示されます。
初めて接続するときのみパソコンが本機を認識するための作業が自動的に行われます。作業が終わるまでお待ちください。
Windows XPをお使いの方は、「コピーウィザード画面が表示された場合」（32ページ）をご覧ください。

ご注意

- 複数のUSB端子のあるパソコンに本機をつなぐ場合は、キーボードやマウス以外のUSB機器を接続しないでください。
- デスクトップ型パソコンの場合は、パソコン背面のUSB端子をご使用ください。

パソコンからUSB ケーブルを抜く、USB接続中に本機のフロッピーディスク、“ メモリースティック ”を取り出す、MS/FD スイッチを切り換えるときは

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合

1 デスクトップ画面右下の「ハードウェアの取り外し」のアイコンをダブルクリックする。

2 (Sony DSC)をクリックし［停止］をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して［OK］をクリックする。

4 ［OK］をクリックする。

5 USBケーブルを抜くなどの操作を行う。

Windows98/98SEをお使いの場合
上記の手順5のみ行ってください。

手順3 Windowsで画像を再生する

本機をパソコンに接続した状態で、本機の画像を再生する操作を行います。

❶ Windows上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ「リムーバブルディスク（E:）*」をダブルクリックする。

フロッピーディスクまたは、“ メモリースティック ”内のフォルダが表示されます。
「リムーバブルディスク」が表示されない場合は、「リムーバブルディスクが表示されない場合」(33ページ)をご覧ください。
* 認識されるドライブはパソコンによって異なります。

❷ 見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名について」（39ページ）をご覧ください。

パソコンで画像を見る（つづき）

フロッピーディスクの画像を見るとき

再生したいファイルを	この順でダブルクリックする
Eメール画像	「E-mail」フォルダ→画像ファイル
上記以外の画像	画像ファイル

“メモリースティック”の画像を見るとき

再生したいファイルを	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*
クリップモーション画像	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
Eメール画像、TIFF（非圧縮）画像	「Mssony」フォルダ→「Imcif100」フォルダ→画像ファイル

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。フロッピーディスクまたは“メモリースティック”から直接再生すると、画像がとぎれることがあります。

画像をパソコンにコピーする

取り込みたい画像のあるフォルダを開いて、画像ファイルをデスクトップ画面上の「マイドキュメント（例）」フォルダにドラッグ＆ドロップします。

ご注意

同じファイル名の画像をパソコンの同じフォルダにコピーすると、元の画像を上書きしてよいかを確認するメッセージが表示されます。元の画像を消して今回ドラッグ＆ドロップした画像を入れてよいときは、［はい］をクリックします。元の画像を残しておきたいときは、［いいえ］をクリックし、ドラッグ＆ドロップする画像のファイル名を変更してください。

コピーウィザード画面が表示された場合（Windows XPをお使いの方へ）

以下のように操作を行い、本機の画像データをパソコンに取り込んでください。

1 「コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザードを使用」をクリックし、「OK」をクリックする。

2 画面の指示にしたがってコピーする操作を行う。
コピー先には「マイドキュメント（例）」を指定してください。
続けて画像をコピーしたい場合は、「完了」をクリックした後に、USBケーブルを一度抜き差ししてから、コピーウィザード画面での操作を繰り返してください。

リムーバブルディスクが表示されない場合

本機をパソコンに接続した状態で、誤って登録されたドライバを削除します。
接続方法は「手順2 USBケーブルで接続する」（30ページ）をご覧ください。
USBドライバを正しくインストールするために、以下の手順を省略せずに、すべて行ってください。

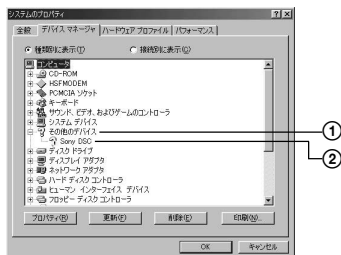
1 パソコンの［デバイスマネージャ］を開く。

Windows 2000をお使いの場合：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「ハードウェア」タブを開き、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックする。

Windows 98、Windows 98SE、Windows Meをお使いの場合：

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」を選択し、「デバイスマネージャ」をクリックする。

2 別のデバイスが表示されていないか確認する。

① 「？その他デバイス」をクリックする。
② “ ？ ”マークの付いた[？Sony DSC]または[？Sony Handycam]がないか確認する。

3 “ ？ ”マークの付いたデバイスがあれば削除する。

① [？Sony DSC]または[？Sony Handycam]をクリックする。
② [削除]をクリックする。「デバイス削除の確認」画面が表示されます。
③ [OK]をクリックする。

4 本機の電源を切り、専用USBケーブルを本機とパソコンから取りはずす。

5 付属のCD-ROMのUSBドライバをインストールする。

「手順1 USBドライバをインストールする（28ページ）」をご覧ください。

Macintoshをお使いの場合

推奨Macintosh環境

OS： Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X(v10.0/v10.1)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1にアップグレードしてご使用ください。
— Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
— Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4
Mac OS X(v10.0/v10.1)をお使いの場合、“メモリースティック”使用時のみUSB接続できます。

ディスプレイ: 800×600ドット以上、32 000色モード以上
USB端子が標準で装備されていることが必要です。
QuickTime 3.0以降がインストールされていることが必要です（動画再生時）。

ご注意

- 1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、またハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

画像を見るための操作の進め方

手順1 USBドライバをインストールする(35ページ)
初めて接続するときのみ必要な操作です。

手順2 USBケーブルで接続する(36ページ)

手順3 Macintoshで画像を再生する(36ページ)

Mac OS 9.1/9.2 Mac OS X（v10.0/v10.1）**をお使いの場合**
USBドライバのインストールは必要ありません。本機とパソコンをUSBケーブルで接続するだけでドライブとして認識します。**手順2**から始めてください。

ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32 000色モード以上にしてください。

手順1 USBドライバをインストールする

本機をパソコンに接続する前に、お手持ちのパソコンにUSBドライバをインストールします。USBドライバは、本機に付属しているCD-ROMにアプリケーションソフトとともに収録されています。

❶ **パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。**

❷ **付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。**

CD-ROMウィンドウ（Pixela ImageMixer）が表示されます。

❸ **CD-ROMウィンドウの「セットアップメニュー」アイコンをダブルクリックする。**

「PIXELA ImageMixer for Sony」の画面が表示されます。

❹ **「USB Driver」ボタン(フォルダボタン)をクリックする。**

6個の“ Sony USB Driver ”関連ファイルを収録したフォルダが開きます。

❺ **以下の2個のファイルを選択してシステムフォルダにドラッグ＆ドロップし、メッセージが表示されたら「OK」をクリックする。**

- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

❻ **パソコンを再起動する。**

基本操作

再生

手順2 USBケーブルで接続する

USBケーブルの接続方法について、詳しくは30ページをご覧ください。

パソコンからUSB ケーブルを抜く、USB接続中の本機のフロッピーディスク、“ メモリースティック ”を取り出す、MS/FD スイッチを切り換えるときは

フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”のアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

Mac OS X(v10.0)をお使いの場合

パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

手順3 Macintoshで画像を再生する

本機をパソコンに接続した状態で、本機の画像を再生する操作を行います。

Mac OS X(v10.0/v10.1)をお使いの場合

USB接続をしても、フロッピーディスクは認識されません。“ メモリースティック ”のみのご使用になります。フロッピーディスクの内容を“ メモリースティック ”にコピーしてからお使いください。（80ページ）。

---

❶ **デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。**

フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”内のフォルダが表示されます。

---

❷ **見たい画像ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。**

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名について」（39ページ）をご覧ください。

フロッピーディスクの画像を見るとき

再生したいファイルを	この順でダブルクリックする
Eメール画像	「E-mail」フォルダ→画像ファイル
上記以外の画像	画像ファイル

“ メモリースティック ”の画像を見るとき

再生したいファイルを	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*
クリップモーション画像	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
Eメール画像、 TIFF(非圧縮)画像	「Mssony」フォルダ→「Imcif100」フォルダ→画像ファイル

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”から直接再生すると、画像がとぎれることがあります。

画像をパソコンにコピーする

取り込みたい画像のあるフォルダを開いて、画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

パソコンを使用するときのご注意

フロッピーディスク／“ メモリースティック ”

- **フロッピーディスク／“ メモリースティック ”**は必ず、**本機**でフォーマット(84ページ)してください。USB**接続したパソコンからは、フォーマットできません。**
- フロッピーディスクは、DOS/Vフォーマット2HDタイプを使用してください。それ以外のフロッピーディスクはパソコンで正しく認識できません。
- フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で再生できなくなります。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることがあります。その際は下記のホームページのSUPPORTページに入り、アップデート情報から最新ドライバソフト［Sony MPEG Decoder］をダウンロードしてご使用ください。

http://www.vaio.sony.co.jp

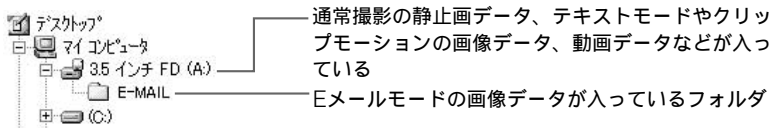
画像ファイルの保存先とファイル名について

本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。フロッピーディスクに記録された画像のファイル名と“メモリースティック”に記録された画像のファイル名はそれぞれ異なります。ファイル名の意味は以下の通りです。

フロッピーディスク使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□には001から999の数字が入ります。
∆には下記の文字が入ります。

S： 画像サイズ640×480で撮影した静止画ファイル
F： 画像サイズが640×480よりも大きい静止画ファイル
V： 画像サイズ160×112で撮影した動画ファイル
W：画像サイズ320×240で撮影した動画ファイル
T： テキストモードで撮影した静止画ファイル
C： ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイル
M：モバイルモードで撮影したクリップモーションファイル

例：Windows Meで見たときの例（フロッピーディスクが認識されたドライブはA）

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
3.5インチFD(A:)	MVC-□□□∆.JPG	•通常撮影した静止画ファイル •Eメールモードで撮影した静止画ファイル（64ページ）
	MVC-□□□∆.411	インデックス表示用ファイル 本機以外で再生できません。
	MVC-□□□∆.MPG	動画ファイル

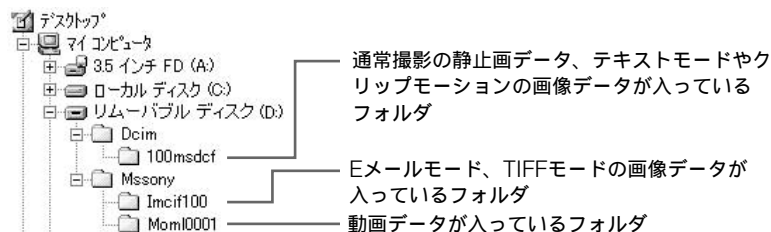
画像ファイルの保存先とファイル名について（つづき）

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
3.5インチFD（A:）	MVC-□□□△.GIF	以下で撮影した画像ファイル —テキストモード（65ページ） —クリップモーションモード（62ページ）
	MVC-□□□△.THM	以下で撮影した画像ファイルのインデックス画像ファイル —テキストモード（65ページ） —クリップモーションモード（62ページ）
[E-MAIL]フォルダ	MVC-□□□E.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（64ページ）

- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した画像ファイルとその小サイズ画像ファイル
  – テキストモードで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
  – クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
- テキストモード、クリップモーションで撮影したインデックス表示用ファイルは本機でのみ再生することができます。

“メモリースティック”使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□□には0001から9999の数字が入ります。

Windows Meで見たときの例（本機が認識されたドライブはD）

このフォルダの中にある	このファイルは	こういう意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	•通常撮影した静止画ファイル •以下で撮影した静止画ファイル —Eメールモード（64ページ） —TIFFモード（66ページ）
	CLP0□□□□.GIF	ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイル（62ページ）
	CLP0□□□□.THM	ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	MBL0□□□□.GIF	モバイルモードで撮影したクリップモーションファイル（62ページ）
	MBL0□□□□.THM	モバイルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	TXT0□□□□.GIF	テキストモードで撮影した静止画ファイル（65ページ）
	TXT0□□□□.THM	テキストモードで撮影した静止画ファイルのインデックス画像ファイル
Imcif100	DSC0□□□□.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（64ページ）
	DSC0□□□□.TIF	TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイル（66ページ）
Moml0001	MOV0□□□□.MPG	通常撮影した動画ファイル

下記のファイルの数字部分は同じになります。
– Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
– TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイルとその画像ファイル
– テキストモードで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
– クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル

画像ファイルの保存先とファイル名について（つづき）

ちょっと一言

デジタルスチルカメラは撮影した画像をデジタルデータで保存します。このデジタルデータの形式をファイル形式といい、本機は以下の形式を採用しています。

JPEG形式

ほとんどのデジタルスチルカメラやパソコンのOS/ブラウザソフトで採用されている画像圧縮形式です。撮影した画像データを、見た目をあまり変えずに圧縮/保存できます。反面、圧縮/保存をくりかえすと画像が劣化します。本機では通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

GIF形式

圧縮/保存をくり返しても画像が劣化しない画像の圧縮形式です。使用する色を256色に制限します。本機ではクリップモーションモード（62ページ）、テキストモード（65ページ）での撮影時にGIF形式で画像を保存します。

TIFF形式

撮影した画像データを圧縮せずに保存するので画像が劣化しません。ほとんどのパソコンのOSやソフトウェアに対応できます。本機では、TIFFモード（66ページ）での撮影時にTIFF形式で画像を保存します。

MPEG形式

動画の代表的な圧縮形式です。本機では動画撮影時に、MPEG形式で動画を保存します。

「ImageMixer」で画像を見る

「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をインストールする

本機付属のCD-ROMに入っている「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」を使うと、本機で撮影した静止画や動画をお使いのパソコンで手軽に楽しめます。
パソコンの動作環境はCD-ROMの封筒に入っている取扱説明書に記載しています。

操作の前に
Windows 2000、Windows XP をお使いの場合は、Administrators(管理者権限)でログオンしてください。

❶ パソコンの電源を入れる。

パソコンを使用中の場合には、使用中のアプリケーションはすべて終了させてください。

❷ 本機に付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。

しばらくすると、タイトル画面が表示されます。

タイトル画面が表示されないときは
① デスクトップ画面上の「マイコンピュータ」をダブルクリックする。
② CD-ROMドライブ（「ImageMixer（E:)」）をダブルクリックする。
※ (E:)の部分は、パソコンによって異なります。

❸ タイトル画面の中の「PIXELA ImageMixer」を選択する。

Windowsの場合

1 「PIXELA ImageMixer 」をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを行う。
インストールの終了時に表示される「Readme.txt 」の画面では、表示内容を確認後画面を閉じ、「完了」をクリックします。
Windows XPをお使いの方は、以下の手順2〜4は不要です。手順❹に進んでください。

2 タイトル画面の［DirectX］をクリックする。
「Microsoft DirectX8.0のセットアップ」画面が表示されます。

基本操作　再生

3 ［はい］をクリックする。
「DirectX(R)セットアップ」画面が表示されます。

4 ［インストール］をクリックする。
インストールが始まります。終了したら［OK］をクリックし、パソコンを再起動します。

Macintoshの場合
タイトル画面のインストールしたい言語のボタン（日本語など）をクリックし、画面の指示にしたがってインストールを行います。

❹ パソコンからCD-ROMを取り出す。

「ImageMixer」で画像をパソコンに取り込む

「PIXELA ImageMixer」を使って、本機の静止画や動画のデータを、パソコンに取り込みます。
ここでは、Windowsで表示される画面を使って説明しますが、Macintoshでも同様の操作で画像を取り込むことができます。

Mac OS X(v10.0/v10.1)をお使いの場合
USB接続をしてもフロッピーディスクは認識されません。“ メモリースティック ”のみのご使用になります。フロッピーディスクの内容を“ メモリースティック ”にコピーしてからお使いください。（80ページ)

ご注意
- USBケーブルを使ってパソコンで見るとき、画像がとぎれて表示されることがあります。
- 本機の画面表示はパソコンに取り込まれません。

不具合が生じたときは
「ImageMixer」を終了してからもう一度起動し直してください。

❶ 本機とパソコンを準備する。

1 パソコンを起動する。

2 本機にフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を挿入し、MS/FDスイッチを挿入したメディアに合わせて設定する。

3 本機にACパワーアダプターを接続して、本機の電源を入れる。

4 USBケーブルでパソコンに接続する。
本機の液晶画面に「USBモード」と表示されます。

❷ パソコンで「ImageMixer」を起動する。

Windowsの場合は
「スタート」→「プログラム」→「PIXELA」→「ImageMixer」→「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」の順に開く。
Macintoshの場合は
インストールしたフォルダの「PIXELA ImageMixer Ver.1.0 for Sony」をクリックする。

「ImageMixer」が起動し、メイン画面が表示されます。

❸ 画面左端の入力ボタン をクリックする。

画像を取り込むための画面が表示されます。

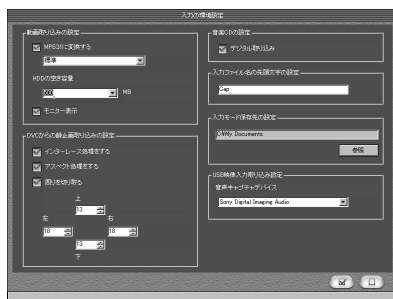
❹ 取り込む画像の入っているフォルダを選ぶ。

画面左のファイル入力ボタン をクリックし、フォルダリストウィンドウの中から再生したい画像のあるフォルダを選びます。選択したフォルダにある画像の一覧がファイルサムネール一覧ウィンドウに表示されます。
本機内のフロッピーディスクまたは“メモリースティック”の場合は、「リムーバブルディスク（E:）」）を選択します。
※（E:）の部分はパソコンによって異なります。

「ImageMixer」で画像を見る（つづき）

ファイル入力ボタン　フォルダリストウィンドウ　ファイルサムネール一覧ウィンドウ　入力ボタン　環境設定ボタン　アルバムリストウィンドウ

❺ **画面右上の環境設定ボタン をクリックする。**

「入力の環境設定」画面が表示されます。

❻ **取り込んだ画像の保存先フォルダを設定する。**

「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、表示される「フォルダの参照」画面で「マイドキュメント（例）」をクリックして、［OK］をクリックします。

設定が終了したら画面右下の ボタンをクリックする。

❼ **アルバムリストウィンドウのアルバムをクリックする。**

ファイルを登録したいアルバムを選択します。

❽ **パソコンに取り込む画像をクリックして選択する。**

Windowsではコントロールキー（MacintoshではOptionキー）を押しながらクリックすると、複数の画像を選択できます。

❾ **画面右上の入力ボタン をクリックする。**

画像がパソコンに取り込まれます。
ファイルサムネール一覧ウィンドウの画像をアルバムまでドラッグ＆ドロップしても、取り込むことができます。

「ImageMixer」で画像を再生する

パソコンに取り込んだ画像を「ImageMixer」を使って再生します。

❶ **メイン画面または画像取り込みの画面でアルバムボタン をクリックする。**

見たい画像の入ったアルバムを選択します。
画像を見るための画面が表示されます。

アルバムボタン

ファイルメニューボタン

❷ 表示したい画像をダブルクリックする。

選んだ画像が表示されます。

画像の一覧表示画面に戻る場合

画面右上の終了ボタン をクリックします。

印刷する場合

1 画像の一覧表示画面で印刷したい画像をクリックする。

2 ファイルメニューボタン をクリックし、表示されるメニューから［印刷］をクリックする。
「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

3 レイアウトを設定する。

お好みに応じて設定してください。通常は、画面下の「静止画印刷」 ボタンをクリックします。

4 画面右下の印刷用紙設定のボタン をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されるので、用紙サイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックします。

5 画面右下の印刷設定のボタン をクリックする。
「印刷」画面が表示されるので、［OK］をクリックします。
画像が印刷されます。

印刷できない場合

プリンタの設定が正しいか確認してください。
詳しくは、お使いのプリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

「PIXELA ImageMixer Ver. 1.0 for Sony」のオンラインヘルプ（取扱説明）を見る

「PIXELA ImageMixer Ver. 1.0 for Sony」について、詳しい操作方法や機能を調べることができます。

Windowsをお使いの場合

❶ 画面右上の ? ボタンをクリックする。

「ImageMixer's Help」画面が表示されます。

❷ 知りたい内容について、目次から調べたり、青文字の言葉（リンク先がある言葉）をクリックして調べることができます。

Macintoshをお使いの場合

「ImageMixer」をインストールしたフォルダにあるmanual.htmlファイルをウェブブラウザで開きます。

オンラインヘルプを閉じるときは

「PIXELA ImageMixer Ver. 1.0 for Sonyヘルプ」画面のウィンドウを閉じるボタン ☒ をクリックします。

ImageMixer for Sonyに関するお問合わせ

PIXELA ImageMixer Ver. 1.0 for Sonyはピクセラ社製です。お問い合わせはピクセラ社までお願い致します。

ピクセラユーザーサポートセンター

TEL: 072-224-0181

（受付時間：9:00〜17:00、年末、年始、祝日を除く）

URL http://www.imagemixer.com

「プレイステーション 2」に画像を取り込む

本機と「プレイステーション 2」をUSBケーブルで接続すると、本機で撮影したJPEGの画像を「プレイステーション 2」に取り込むことができます。この場合、ピクチャーパラダイスに対応した市販の「プレイステーション2」専用のアプリケーションソフトが必要です。

- 「プレイステーション」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- PictureParadise および「ピクチャーパラダイス」ロゴ は、ソニー株式会社の商標です。

■ピクチャーパラダイスについて

ピクチャーパラダイスとは、ソニー株式会社の提唱する対応機器と「プレイステーション 2」を接続し、対応アプリケーションソフトを使い、画像データなどを取り扱うことのできる規格の名称です。
ドライバ等のインストールは不要です。ピクチャーパラダイスに対応したアプリケーションソフトのディスクを「プレイステーション 2」に入れれば、すぐに遊べます。

PictureParadise

「プレイステーション 2」につなぐ

つなぐ前に、本機と「プレイステーション2」の電源が切れていることを確認してください。

❶ USBケーブルで本機と「プレイステーション 2」をつなぐ。

❷ 取り込みたい画像が入ったフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を本機に、市販のアプリケーションソフトのディスクを「プレイステーション 2」に入れる。

❸ 本機と「プレイステーション 2」の電源を入れる。

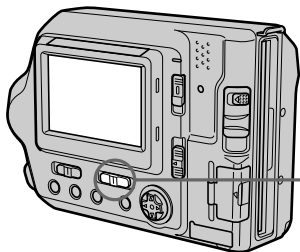
❹ アプリケーションソフトの遊びかたの指示にしたがって本機から画像を取り込んで遊ぶ。

遊びかたはアプリケーションソフトによって異なります。詳しくはアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

応用操作の前に

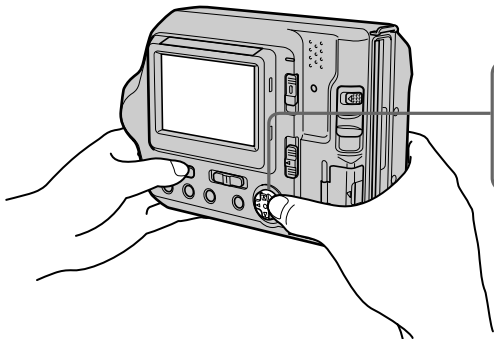
ここでは、「応用操作」でよく使われるスイッチやボタンの使いかたをまとめて説明します。

PLAY/STILL/MOVIEスイッチの使いかた

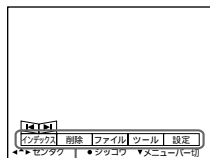
本機を使って撮影するのか、再生・編集するのかを切り換えるスイッチです。操作を始める前に、あらかじめ以下のように切り換えます。

PLAY　STILL　MOVIE

PLAY：　画像を再生・編集するとき
STILL：　静止画やクリップモーションを撮影するとき
MOVIE：動画を撮影するとき

コントロールボタンの使いかた

本機はコントロールボタンで画面上のボタンや画像、メニューを選び操作します。ここでは応用操作編でよく使われる操作方法を説明します。

画面上の操作ボタン（メニューバー）を表示／消去する

▲を押すと、画面上にメニューバーを表示する。

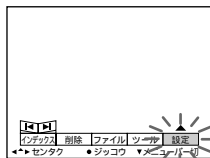
▼を押すと、画面上のメニューバーが消える。

メニューバー

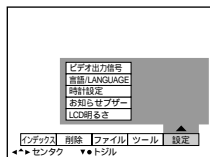
ご注意

インデックス画面表示（73ページ）のとき、メニューバーを消すことはできません。

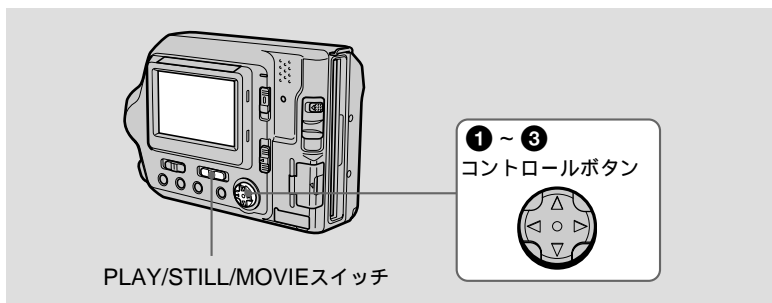
画面上の項目や画像を選択する

❶ コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目や表示したい画像を選ぶ。

選ばれた項目や画像の枠は青色から黄色に変わります。

❷ コントロールボタンの中央の●を押して、決定（実行）する。

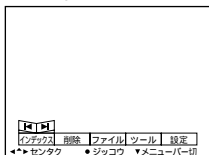
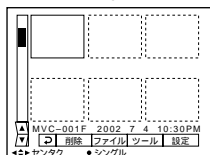
❶と❷を繰り返して各機能を操作します。

この取扱説明書の応用操作編では、上記の手順で項目を選び、実行することを「[(項目名)] を選択する」と表記しています。

メニューでの設定の変えかた

本機の応用操作の一部は、画面上に表示されるメニュー項目をコントロールボタンで選択して操作します。

❶ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

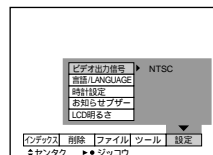
メニューバーはPLAY/STILL/MOVIEスイッチの設定によって、下記のように変わります。

「STILL」または「MOVIE」のとき

「PLAY」（シングル画面表示）のとき

「PLAY」（インデックス画面表示）のとき

❷ **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選択したい項目を選び、中央の●を押す。**

各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンの中央の●を押すと、設定できる項目が表示されます。

ご注意

MS/FDスイッチの位置によって、表示される項目が変わります。

❸ **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で希望の設定項目を選び、中央の●を押す。**

応用操作の前に（つづき）

中止するには

コントロールボタンの▼を手順❶のメニューバー表示画面に戻るまで押します。
メニューバーを消したいときは、もう1度押します。

設定項目の説明

PLAY/STILL/MOVIEスイッチやMS/FDスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。画面には、使える項目のみが表示されます。■印はお買い上げ時の設定です。

(セルフタイマー)

セルフタイマー撮影をする（20ページ）。

エフェクト

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ピクチャーエフェクト	ソラリ モノトーン セピア ネガアート ■ 切	画像の特殊効果を設定する（72ページ）。	「STILL」 「MOVIE」
日付／時刻	日時分 年月日 ■ 切	画像に日付や時刻を挿入するかどうか設定する（72ページ）。	「STILL」

ファイル

項目-1	項目-2	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ディスクツール（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	フォーマット	実行	フロッピーディスクを初期化（フォーマット）する（84ページ）。初期化すると、プロテクトしてある画像もふくめて、フロッピーディスクに記録されているすべての画像が消去されます。ご注意ください。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」
		キャンセル	中止する。	
	ディスクコピー	実行	フロッピーディスクのすべての内容を他のフロッピーディスクにコピーする（82ページ）。	
		キャンセル	中止する。	
	キャンセル		[フォーマット]または[ディスクコピー]を中止して、[ディスクツール]に戻る。	

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
フォーマット（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	実行	"メモリースティック"を初期化（フォーマット）する。初期化すると、プロテクトしてある画像もふくめて、"メモリースティック"に記録されているすべての画像が消去されます。ご注意ください。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」
	キャンセル	中止する。	
ファイル番号	連番	フロッピーディスクまたは"メモリースティック"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フロッピーディスクと"メモリースティック"の間では連続しません。ご注意ください。	「STILL」「MOVIE」
	■ 標準	フロッピーディスクまたは"メモリースティック"ごとにファイル番号を001または0001から付ける。	

応用操作の前に

ファイル

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
クリップモーション	 160×120（ノーマル） 80×72（モバイル） キャンセル	GIF形式のアニメーション作成用の画像サイズとコマ数を設定する（62ページ）。 10コマまで撮影可能。 2コマまで撮影可能。 中止する。	「STILL」
画像サイズ（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	MVC-FD100 ■ 1280×960 1280(3:2) 1024×768 640×480 MVC-FD200 ■ 1600×1200 1600(3:2) 1600(ECM) 1024×768 640×480	静止画撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
画像サイズ（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	MVC-FD100 ■ 1280(FINE) 1280(3:2)F 1024(FINE) 640(FINE) MVC-FD200 ■ 1600(FINE) 1600(3:2)F 1024(FINE) 640(FINE)	静止画撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
画像サイズ	320×240 ■ 160×112	動画撮影時にMPEG画像のサイズを選ぶ。	「MOVIE」
撮影モード	TIFF テキスト Eメール ■ 通常撮影	MS/FDスイッチが「MS」のとき、JPEGファイルと別にTIFF（非圧縮）ファイルを記録する。 GIFファイルで白黒撮影する。 設定されている画像サイズと別に小サイズ（320×240）のJPEGファイルを記録する。 通常の撮影をする。	「STILL」
記録時間	15秒 10秒 ■ 5秒	動画撮影時の記録時間を選ぶ。	「MOVIE」

ファイル

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
スライドショー（シングル画面のときのみ）	間隔設定 繰り返し スタート キャンセル	スライドショーの間隔を設定する。 ■3秒／5秒／10秒／30秒／1分 スライドショーを繰り返す。（フロッピーディスク使用時は20分まで） ■入／切 スライドショーを実行する。 スライドショーの設定および実行を中止する。	「PLAY」
プリントマーク	入 ■ 切	プリントしたい静止画像を選ぶ（83ページ）。 画像のプリントマークをとる。	「PLAY」
プロテクト	入 ■ 切	画像に誤消去防止指定をする（77ページ）。 誤消去防止指定を解除する。	「PLAY」

カメラ

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ISO	400 200 100 ■ オート	ISO感度を設定する。暗い場所での撮影や高速で移動する被写体の撮影には大きい数字を、高画質を得るには小さい数字を選ぶ。（プログラムAEを解除したとき、またはスポット測光モードでのみ指定できます）	「STILL」
デジタルズーム	■ 入 切	デジタルズームを使う。 デジタルズームを使わない。	「STILL」
シャープネス	＋2～－2	画像のシャープネスを調節する。設定を0にしていないときは、画面に◨が出る。	「STILL」
ホワイトバランス	屋内 屋外 ホールド ■ オート	ホワイトバランスを設定する（71ページ）。	「STILL」 「MOVIE」
フラッシュレベル	明 ■ 標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。	「STILL」
EV補正	＋2.0EV～－2.0EV	撮影前に露出を調節する。	「STILL」 「MOVIE」

応用操作の前に（つづき）

ツール

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
コピー（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	FD → FD FD → MS キャンセル	フロッピーディスクにコピーする。 “メモリースティック”にコピーする。 画像のコピーを中止する（80、81ページ）。	「PLAY」
コピー（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	MS → MS MS → FD キャンセル	“メモリースティック”にコピーする。 フロッピーディスクにコピーする。 画像のコピーを中止する（80、81ページ）。	「PLAY」
リサイズ（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	MVC-FD100 1280×960 1024×768 640×480 キャンセル MVC-FD200 1600×1200 1024×768 640×480 キャンセル	シングル画面表示のとき、撮影した静止画の画像サイズを変更する（79ページ）。	「PLAY」
リサイズ（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	MVC-FD100 1280(FINE) 1024(FINE) 640(FINE) キャンセル MVC-FD200 1600(FINE) 1024(FINE) 640(FINE) キャンセル	シングル画面表示のとき、撮影した静止画の画像サイズを変更する（79ページ）。	「PLAY」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
デモモード	■ 入/スタンバイ 切	外部電源使用時のみ表示される項目。お買い上げ時は、［スタンバイ］に設定されている。電源を入れ、PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」または「MOVIE」にしたまま約10分放置すると、デモンストレーションが始まる。電源を切ると終了する。	「STILL」 「MOVIE」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ビデオ出力信号	NTSC PAL	ビデオ出力信号をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。 ビデオ出力信号をPALモードに設定する（欧州など）。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」
言語/LANGUAGE	ENGLISH ■ 日本語／JPN	メニュー項目を英語で表示する。 メニュー項目を日本語で表示する。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」
時計設定	－	日付・時刻を合わせる（12ページ）。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」
お知らせブザー	シャッター ■ 入 切	シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 音は鳴らない。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」
LCD明るさ	▮▮▮▮╻╻╻╻╻╻	画面上の－／＋ボタンで液晶画面の明るさを調節する。	「PLAY」「STILL」「MOVIE」

インデックス（シングル画面のときのみ）

インデックス画面表示にする。

削除（シングル画面のときのみ）

設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
実行	表示中の画像を削除する。	「PLAY」
キャンセル	削除を中止する。	

⮌（戻る）（インデックス画面のときのみ）

シングル画面表示に戻る。

画像サイズを設定する

1 PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」または「MOVIE」にする。

2 メニューから［ファイル］→［画像サイズ］の順に選択する。

3 画像サイズを選択する。

静止画の場合：

- MVC-FD100
  MS/FDスイッチが「FD」のとき
  1280×960：120万画素相当
  1280(3:2)*
  1024×768：80万画素相当
  640×480：35万画素相当
  MS/FDスイッチが「MS」のとき
  1280(FINE)：120万画素相当
  1280(3:2)*F
  1024(FINE)：80万画素相当
  640(FINE)：35万画素相当

- MVC-FD200
  MS/FDスイッチが「FD」のとき
  1600×1200：200万画素相当
  1600(3:2)*
  1600(ECM)
  1024×768：80万画素相当
  640×480：35万画素相当
  MS/FDスイッチが「MS」のとき
  1600(FINE)：200万画素相当
  1600(3:2)*F
  1024(FINE)：80万画素相当
  640(FINE)：35万画素相当

(FINE)：“メモリースティック”に記録される画像は、より高画質になります。ファイルサイズはフロッピーディスクの記録時より大きくなります。

(ECM)：画質は劣化しますが、記録枚数が増えます。画質を優先する場合は[1600×1200]を選んでください。

* プリント紙の横縦比3：2に合うように画像を3：2で撮影します。プリントしたときに余白が出ません。撮影時には、液晶画面（横縦比4：3）に映った撮影範囲の上下を切って画像を記録しますので、ご注意ください。

動画の場合：

320×240、160×112

フロッピーディスクまたは"メモリースティック"(8 MB)1枚に記録できる枚数や時間は

MVC-FD100

画像サイズ	用途例	撮影枚数または撮影時間*1)	
		フロッピーディスク	"メモリースティック"
1280×960	ハガキサイズの印刷など	約6枚	約12枚
1280(3:2)	3:2プリント	約6枚	約12枚
1024×768	ホームページなど	約10枚	約20枚
640×480	Eメール添付など	約30枚	約48枚
320×240*2)	パソコンで見る	約15秒	約80秒 (約15秒*3))
160×112*2)	Eメール添付など	約60秒	約320秒 (約60秒*3))

MVC-FD200

画像サイズ	用途例	撮影枚数または撮影時間*1)	
		フロッピーディスク	"メモリースティック"
1600×1200	A4サイズの印刷など	約4枚	約8枚
1600(3:2)	3:2プリント	約4枚	約8枚
1600(ECM)	多枚数の収録	約8枚	–
1024×768	ホームページなど	約10枚	約20枚
640×480	Eメール添付など	約30枚	約48枚
320×240*2)	パソコンで見る	約15秒	約80秒 (約15秒*3))
160×112*2)	Eメール添付など	約60秒	約320秒 (約60秒*3))

*1) 撮影モードが[通常撮影]の場合
*2) 動画の画像サイズ
*3) 連続撮影時の最大記録時間

記録時間、枚数は

撮影状況によって数値と異なる場合があります。

ご注意

- ディスク残量表示が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとすると「ディスクがいっぱいです」と表示され撮影不能になります。
- "メモリースティック"残量表示が残っていても、1枚の"メモリースティック"に3001枚以上記録しようとすると「メモリースティックの残量がありません」と表示され撮影不能になります。
- テキストモードでは[1600 (ECM)]を選んでも、記録できる画像の数は[1600×1200]と同じです。

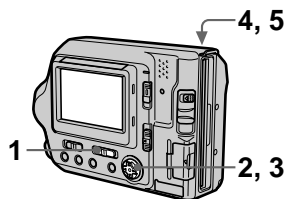
ちょっと一言

デジタルスチルカメラでは撮影画像のサイズを1280×960ピクセル、というふうに「ピクセル」で表します。ピクセル数は大きいほど画像情報が多く、パソコンでの画像加工や大判プリントに向いています。小さければEメール添付などに便利です。通常、デジタルスチルカメラの画像はパソコンモニターのサイズに合わせて横縦比4：3で撮影されますが、本機ではプリンターの用紙サイズ（3：2）も選択できます。これは、街のDPEショップで写真を現像したときと同じサイズです。

1280×960

1280（3：2）

クリップモーションを作成する

クリップモーションは静止画像が連続再生されるアニメーション機能です。保存形式はGIF形式で、ホームページ作成やEメール添付に便利です。本機では約0.5秒間隔で再生されます。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［クリップモーション］の順に選択する。**

3 **希望のモードを選択する。**

160×120（**ノーマル**）

最大10コマのクリップモーションを撮影できます。

ホームページなどでのご利用に適しています。

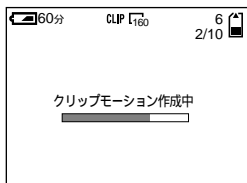
80×72（**モバイル**）

最大2コマのクリップモーションを撮影できます。

携帯端末などでのご利用に適しています。

キャンセル

クリップモーションの作成を中止します。

4 1コマ目の撮影をする。

5 次のコマを撮影する。

撮影可能最大枚数まで繰り返し撮影できます。
［終了］を選択するか、最大枚数を撮り終えると自動的に記録されます。

クリップモーション作成をやめるには

手順**3**のあとで［戻る］を選択します。1コマでも撮影すると、クリップモーションの作成をやめることはできません。

フロッピーディスクまたは"メモリースティック"（8 MB）1枚に記録できるクリップモーションの枚数は

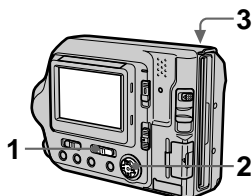
画像サイズ	枚数	
	フロッピーディスク	"メモリースティック"
160×120（ノーマル）	約7枚*	約40枚*
80×72（モバイル）	約54枚**	約400枚**

* 10コマ撮影した場合
** 2コマ撮影した場合

ご注意

- データの書き込み／読み出しに、通常撮影よりも時間がかかります。
- クリップモーション画像は、GIF形式の制限により、256色以下の色数に減色されています。従って画像によっては画質が落ちる場合があります。
- モバイルモードでは、ファイルサイズを小さく抑えているため画質が落ちます。
- 本機以外で作成したGIFファイルは正しく表示されない場合があります。

Eメールに適した静止画を撮る – Eメールモード

静止画と同時に小サイズ（320×240）の画像を記録します。小サイズ画像はEメール添付時に便利です。保存形式はJPEG形式です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［Eメール］の順に選択する。

3 撮影する。

Eメールモード時、フロッピーディスクまたは"メモリースティック"（8 MB）1枚に記録できる枚数は

MVC-FD100

画像サイズ	撮影枚数	
	フロッピーディスク	"メモリースティック"
1280×960	約5枚	約12枚
1280(3:2)	約5枚	約12枚
1024×768	約8枚	約20枚
640×480	約22枚	約43枚

MVC-FD200

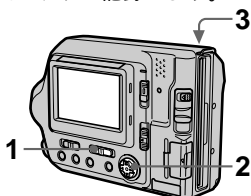
画像サイズ	撮影枚数	
	フロッピーディスク	"メモリースティック"
1600×1200	約3枚	約8枚
1600(3:2)	約3枚	約8枚
1600(ECM)	約7枚	–
1024×768	約8枚	約20枚
640×480	約22枚	約43枚

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

書類などの文字を撮る

ー テキストモード

文字がはっきりと映るように、GIF（ジフ）形式でモノクロ記録します。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［テキスト］の順に選択する。

3 撮影する。

テキストモード時、フロッピーディスクまたは"メモリースティック"(8 MB)1**枚に記録できる枚数は**

MVC-FD100

画像サイズ	撮影枚数*	
	フロッピーディスク	"メモリースティック"
1280×960	最少7枚	最少36枚
1280(3:2)	最少8枚	最少40枚
1024×768	最少11枚	最少54枚
640×480	最少28枚	最少121枚

MVC-FD200

画像サイズ	撮影枚数*	
	フロッピーディスク	"メモリースティック"
1600×1200	最少4枚	最少24枚
1600(3:2)	最少5枚	最少26枚
1600(ECM)	最少4枚	–
1024×768	最少11枚	最少54枚
640×480	最少28枚	最少121枚

* 文字の量など内容によって撮影最大枚数は変わります。

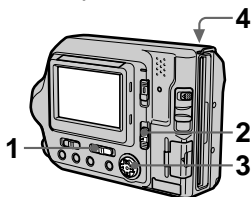
通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- 被写体に均等に光が当たらないと、うまく撮影できないことがあります。
- データの書き込み／読み出しに通常撮影よりも時間がかかります。
- テキストモード選択時はプログラムAEはご使用になれません。

画像に圧縮をかけないで撮る – TIFFモード

“ メモリースティック ”使用時に静止画をTIFF形式（非圧縮）とJPEG形式（圧縮）で同時に記録します。
画像データを圧縮せずに記録するため、画質の劣化がほとんどありません。写真画質でのプリント時などに適しています。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 MS/FD**スイッチを「**MS**」にする。**

3 **メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［**TIFF**］の順に選択する。**

4 **撮影する。**

TIFFモード時、“ メモリースティック ”(8 MB) 1枚に記録できる枚数は

MVC-FD100

画像サイズ	枚数
1280×960	1枚
1280(3:2)	2枚

MVC-FD200

画像サイズ	枚数
1600×1200	1枚
1600(3:2)	1枚

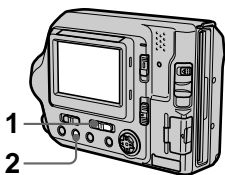
通常撮影モードに戻るには

手順**3**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- JPEG画像は、60ページで選択した画像サイズで記録されます。
  TIFF画像は、MVC-FD100の場合、［1280 (3:2)］を選んでいるとき以外は［1280×960］で記録されます。
  MVC-FD200の場合、［1600 (3:2)］を選んでいるとき以外は［1600×1200］で記録されます。
- データの書き込みに通常撮影よりも時間がかかります。

被写体に接近して撮る
ー マクロ撮影

花や昆虫など、小さな被写体に接近して、大きく撮影するような時に使います。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 FOCUS**ボタンを繰り返し押して、✿を表示させる。**

ズームをW側いっぱいに合わせると、約3 cmまでマクロ撮影できます。

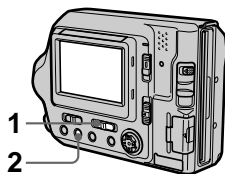
通常の撮影モードに戻すには

FOCUSボタンを繰り返し押して、✿/Ⓕ表示を消します。

ご注意

- 次のプログラムAEのモードのときは、マクロ撮影ができません。
  ー風景モード
  ーパンフォーカスモード
- ✿表示が出たときは、マクロ撮影できません。

被写体までの距離を設定する

フォーカス（ピント）の調整は自動的に行われますが、被写体との距離に応じて撮影距離をあらかじめ設定して撮影するときや、フォーカス自動調整が効きにくいときに使うと便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 FOCUS**ボタンを繰り返し押して、ピントが合う位置を選ぶ。**

手動ピント合わせ表示が表示されます。ピントは下記の6つの設定から選べます。
✿（マクロ）、0.5 m、1.0 m、3.0 m、7.0 m、∞（無限遠）

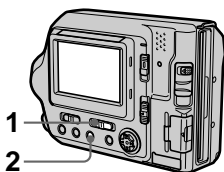
自動調節に戻すには

FOCUSボタンを繰り返し押して、✿/Ⓕ表示を消します。

ご注意

- フォーカス距離情報は正確な距離ではありません。目安として使用してください。
- コンバージョンレンズ（別売り）装着時はフォーカス距離情報が正しく表示されません。

- ズームレバーがT側にある場合、約0.8 m以内のフォーカスが正しく合わないことがあります。その場合、フォーカス距離情報が点滅します。点滅しなくなるまで、ズームレバーをW側に動かしてください。
- プログラムAEのパンフォーカスモードを選んでいるときは、この機能は使えません。

目的に合わせて撮る
ー プログラムAE

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」にする。**

2 PROGRAM AE**ボタンを繰り返し押して、希望のモードの表示を出す。**

夜景モード
暗い場所での明るい被写体の色とびをおさえ、暗い雰囲気を損なわずに撮影することができます。

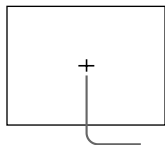
夜景プラスモード
夜景モードの機能をさらに効果的に使用することができます。

風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

パンフォーカスモード
気軽に近くの被写体から遠くの被写体にピントを合わせることができます。

スポット測光モード

逆光のときや被写体と背景とのコントラストが強いときに選びます。撮りたいポイントをスポット測光照準に合わせて撮ります。

液晶画面

スポット測光照準

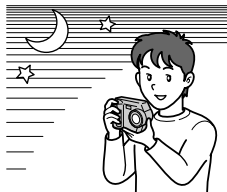
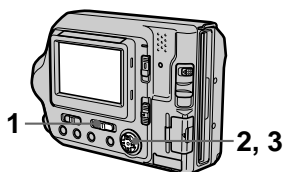
プログラムAEを解除するには

PROGRAM AEボタンを繰り返し押して、画面上のプログラムAE表示を消します。

ご注意

- 風景モードでは、遠景のみにピントが合うようにフォーカスをコントロールします。
- パンフォーカスモードでは、ズームをW側いっぱいにし、フォーカスを固定します。
- 夜景プラスモードで撮影するときは、手ぶれを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
- 次のモードでフラッシュを使うときは、強制発光⚡にしてください。
  - 夜景モード
  - 夜景プラスモード
  - 風景モード
- 動画やテキストモードの静止画を撮影するとき、プログラムAEは選べません。
- スポット測光モード以外のプログラムAEモードを設定したときは、ISO感度はオートになります。

ちょっと一言

通常の撮影時、本機は周囲の環境にあわせて、ピントやアイリス（絞り）、露出、ホワイトバランスなどを自動調整しています。しかし、この自動調整では撮影意図どおりの画像を撮影できないことがあります。プログラムAEは、あらかじめ撮影状況を想定して最適な調整をプログラムした、いわば半自動調整機能です。

露出を補正する – EV補正

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 メニューから［カメラ］→［EV**補正］の順に選択する。**

3 明るさを選択する。

背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
1/3 EVごとに＋2.0 EVから
−2.0 EVまで変えられます。

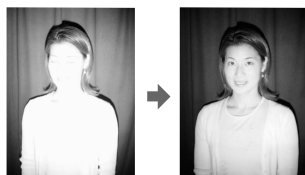
ご注意

被写体が極端に明るいときや暗いとき、およびフラッシュ使用時には、設定した補正が効かない場合があります。

ちょっと一言

通常の撮影時、本機は自動で露出を調整しています。撮影画像を確認し、下の写真のようになっていたら、手動調節することをおすすめします。
逆光の人物や雪景色で撮影するときは＋の方向に、スポットライトなど極端に光が当たっている被写体を撮影するときなどは−方向に補正すると効果的です。

露出不足
＋方向へ補正

露出過剰
−方向へ補正

自然な色合いに調節する
ー ホワイトバランス

通常（オート）は、撮影状況に応じて本機が自動的にホワイトバランスを設定して、全体の色のバランスを調整しています。撮影条件を固定したいときや特定の照明状態で撮影するときは、手動で設定することができます。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」または「MOVIE」にする。**

2 **メニューから［カメラ］→［ホワイトバランス］の順に選択する。**

3 **ホワイトバランスの設定を選択する。**

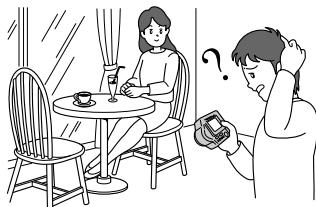
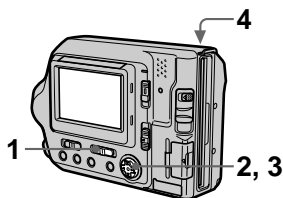
屋内（☼）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

屋外（☀）
夜景やネオン、花火や日の出、日没などを撮るとき

ホールド（HOLD）
単一色の被写体や背景を撮るとき

オート（表示なし）
ホワイトバランスを自動調節する。
蛍光灯の下で撮影するとき

自動調節に戻すには
手順**3**で［オート］を選択します。

ちょっと一言
被写体の見ための色は、光の状況に影響されます。夏の太陽のような光の下ではすべてのものが青っぽく見え、電球のような光源の下では白いものが赤っぽく見えます。人間の目にはすぐれた調節機能があり、光が変わってもすぐに正しい色を認識できます。しかし、デジタルスチルカメラは光の影響を大きく受けます。通常本機は調節を自動で行なっていますが、撮影画像を再生してみて画面全体が不自然な色合いのときはホワイトバランスの設定をすることをおすすめします。

静止画に日付や時刻を入れる ー 日付／時刻

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」にする。**

2 **メニューから［エフェクト］→［日付/時刻］の順に選択する。**

3 **日付・時刻の設定を選択する。**

日時分
画像に日時分を挿入する。

年月日
画像に年月日を挿入する。

切
画像に日付・時刻を挿入しない。

4 **撮影する。**

撮影時は日付／時刻は画面に出ません。再生時に表示されます。

ご注意

- 手順**3**で［年月日］を選んだ場合、「日付・時刻を合わせる」（12ページ）で選んだ表示順の年月日が挿入されます。
- クリップモーションでは、日付・時刻は挿入されません。

画像に特殊効果を与える ー ピクチャーエフェクト

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」または「MOVIE」にする。**

2 **メニューから［エフェクト］→［ピクチャーエフェクト］の順に選択する。**

3 **希望のモードを選ぶ。**

ソラリ
明暗をはっきりさせたイラストのように

モノトーン
白黒に

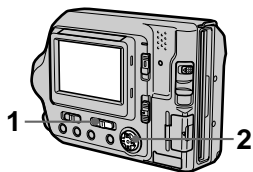
セピア
古い写真のような色合いに

ネガアート
写真のネガフィルムのように

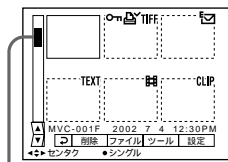
切
ピクチャーエフェクトを使用しない。

ピクチャーエフェクトを解除するには

手順**3**で［切］を選択します。

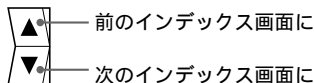
6画面表示する
ー インデックス画面表示

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **画面上の［インデックス］を選択する。**

6枚の画像が一度に表示されます（インデックス画面）。
クリップモーションファイルは最初の1コマ目だけが表示されます。

現在表示されている画像が全体の撮影枚数のどの部分にあたるか示す

画像の種類と設定により、次のマークが画像に表示されます。
：動画ファイル
： Eメールファイル
： プリントマーク
： プロテクトマーク
TEXT：テキストファイル
TIFF：TIFFファイル
CLIP：クリップモーションファイル
（表示なし）：通常撮影の静止画

次（前）のインデックス画面を表示するには

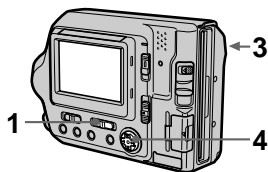
画面左下の▲/▼を選択します。

シングル（1枚表示）画面にするには

- コントロールボタンで見たい画像を選択します。
- （戻る）を選択します。

ご注意

クリップモーションやテキストモードで撮影した画像をインデックス画面で見ると、実際の画像とは違って見える場合があります。

静止画の一部を拡大する

ー 再生ズーム／トリミング

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

2 **拡大したい画像を表示する。**

3 **ズームレバーで画像をお好みの大きさにする。**

ズーム倍率表示が出ます。

4 **コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選択する。**

▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

拡大表示をやめるには

ズーム倍率表示（🔍×1.1）が消えるまで、画像を縮小するか、コントロールボタンの●を押します。

拡大した画像を記録する（トリミング）

再生ズーム後にシャッターボタンを押すと、画像が640×480サイズで記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

ご注意

- 動画やテキストモード、クリップモーションで撮影した画像と非圧縮画像はトリミングできません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。
- トリミングした画像は画質が劣化するおそれがあります。
- トリミングしても元の画像は残ります。
- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録されます。

静止画を順番に再生する

ー スライドショー

撮影した静止画を次々に再生します。
記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［スライドショー］の順に選択する。**

下記の設定を選択する。

間隔設定

3秒、5秒、10秒、30秒、1分

繰り返し

入：［戻る］を選択するまで、繰り返し再生される（フロッピーディスク使用時は約20分*）。

切：すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

* すべての画像をひととおり再生し終わるまでは、20分を超えても終了しません。

3 **［スタート］を選択する。**

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

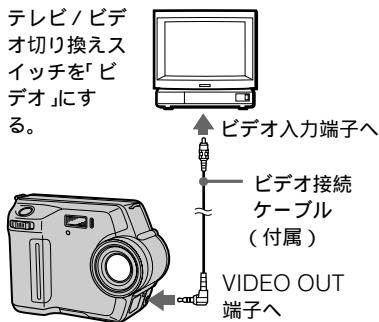
スライドショー再生中に画像を送る／戻すには

画面左下の**I◀**/**▶I**を選択します。

ご注意

［間隔設定］の設定時間は、目安です。画像サイズなどにより変わることがあります。

テレビで見る

テレビの電源を切ってからビデオ接続ケーブルをつなぎ、もう1度電源を入れてください。

1 ビデオ接続ケーブルで本機のVIDEO OUT端子とテレビのビデオ入力端子を接続する。

2 テレビをつけ、本機で画像を再生する。

テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意

- ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。
- 静止画を見る場合、周囲に黒い枠が映ることがあります。

誤消去防止する

ー プロテクト

大切な画像を誤って消さないように保護します。
プロテクト（誤消去防止）した画像には⊶がつきます。

ご注意

画像がプロテクトされていてもフロッピーディスク、“ メモリースティック ”をフォーマット（84ページ）すると、画像はすべて消去されます。

シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、プロテクトをかけたい画像を表示する。**

2 メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［入］の順に選択する。

表示されている画像にプロテクトがかかり、⊶が表示されます。

プロテクト指定を解除するには

手順**2**で［切］を選択します。

インデックス画面表示のとき

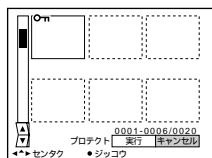
1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス画面表示にする。**

2 メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。

3 ［全画像］を選択したときは

［入］を選択する。
フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に記録されている、すべての画像がプロテクトされます。

［選択画像］を選択したときは

プロテクトしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選んだ画像がプロテクトされます。

プロテクト指定を解除するには

手順**2**で［全画像］を選択したときは［切］を選択します。［選択画像］を選んだときは、プロテクトを解除したい画像をコントロールボタンで選んだあと［実行］を選択します。

画像を消す — 削除

不要な画像を削除します。
プロテクトされた画像は削除できません。

シングル画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、削除したい画像を表示する。**

2 **メニューから［削除］→［実行］の順に選択する。**

画像が削除されます。

インデックス画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

2 **メニューから［削除］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選択したときは**

［実行］を選択する。
プロテクトされていない画像がすべて削除されます。

［選択画像］を選択したときは

削除したい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選択した画像には🗑マークがつき、削除されます。

削除を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

削除したい画像のファイル名と下4桁が同じファイルが“メモリースティック”内に存在すると、同時に削除されます。

撮影した静止画のサイズを変える – リサイズ

Eメール添付するために小さな画像が必要なときなどに使います。リサイズ後の画像は最新ファイルとして記録されます。リサイズ前の画像はそのまま残ります。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、サイズを変えたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［リサイズ］の順に選択する。

3 変更したいサイズを選択する。

- MVC-FD100
  MS/FD**スイッチが「**FD**」のとき**
  1280×960、1024×768、640×480
  MS/FD**スイッチが「**MS**」のとき**
  1280(FINE)、1024(FINE)、640(FINE)
- MVC-FD200
  MS/FD**スイッチが「**FD**」のとき**
  1600×1200、1024×768、640×480
  MS/FD**スイッチが「**MS**」のとき**
  1600(FINE)、1024(FINE)、640(FINE)

変更した画像が記録され、リサイズ前の画像表示に戻ります。

リサイズを中止するには

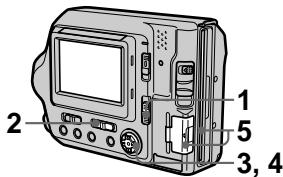
手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- 動画やテキストモード、クリップモーションで撮影した画像と非圧縮画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画質が劣化します。
- リサイズするとフロッピーディスクまたは“メモリースティック”残量は減ります。
- フロッピーディスクまたは“メモリースティック”の残量が足りないと、リサイズできないことがあります。
- 3:2の画像サイズにリサイズできません。
- 3:2の画像をリサイズすると、リサイズ後の画像の上下に黒い帯が入ります。
- インデックス画面のときはリサイズできません。

画像をコピーする
ー コピー

別のフロッピーディスクや“ メモリースティック ”に画像をコピーします。

シングル画面表示のとき

1 MS/FD**スイッチでコピー元のメディアを選択する。**

2 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、コピーしたい画像を表示する。**

3 **メニューから［ツール］→［コピー］の順に選択する。**

4 **コピー先のメディアを選択する。**

- MS/FD**スイッチが「**FD**」のとき**

  FD→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。
  FD→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。

- MS/FD**スイッチが「**MS**」のとき**

  MS→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。
  MS→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。

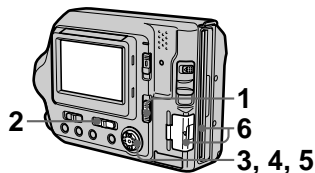
本機にフロッピーディスクと“メモリースティック”を挿入して［FD→MS］または［MS→FD］を選択すると、自動的にコピーが始まります。

5 **画面に表示される指示に従ってフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を挿入／交換する。**

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”にもコピーするときは

手順**5**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**5**を繰り返します。

インデックス画面表示のとき

1 MS/FD**スイッチでコピー元のメディアを選択する。**

2 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス画面表示にする。**

3 メニューから［ツール］→［コピー］の順に選択する。

4 コピー先のメディアを選択する。

- **MS/FDスイッチが「FD」のとき**
  FD→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。
  FD→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。

- **MS/FDスイッチが「MS」のとき**
  MS→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。
  MS→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。

5 ［全画像］を選択したときは*

［実行］を選択する。

* ［FD → FD］または［FD → MS］のコピー時のみ、選択できます。

［選択画像］を選択したときは**

コピーしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選択した画像には✔マークがつきます。

** ［MS → FD］のコピー時には、［実行］を選択すると、必要なフロッピーディスクの枚数が表示されます。さらに［実行］を選択します。

6 画面に表示される指示に従ってフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を挿入／交換する。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクまたは“メモリースティック”にもコピーするときは
手順**6**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**6**を繰り返します。

［MS→FD］を選択してコピーしているとき、1枚のフロッピーディスクに画像が入りきらないときは分割してコピーすることができます。

手順の途中で中止するときは
［中止］を選択します。

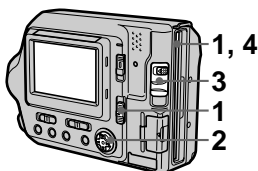
ご注意

- 非圧縮画像はコピーできません。
- 1枚の画像ファイルが約1.4 MBを超えるものはコピーできません。
- 画像ファイルが合計で約1.4 MBを超えるものは、1度にコピーできません。コピーしようとすると「コピーできる容量を超えています」と表示されます。インデックス画面表示のときは✔（コピー）マークが点滅します。ファイル数を減らしてからコピーしてください。
- 「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選ばずにフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を抜き差しすると画像がコピーされてしまいます。
- ［MS→FD］のコピー時に表示される必要なフロッピーディスクの枚数は、目安として使用してください。

フロッピーディスクのすべての情報をコピーする
ー ディスクコピー

撮影した画像だけでなく、パソコンで加工したファイルなども他のフロッピーディスクにコピーすることができます。

ご注意

- ディスクコピーをすると、コピー先のフロッピーディスクの内容はすべて消えます。プロテクトされているデータも消えるのでご注意ください。
- コピー先のフロッピーディスクは必ず本機で初期化してお使いください(84ページ)。

1 **MS/FDスイッチを「FD」にして、コピー元のフロッピーディスクを入れる。**

2 **メニューから［ファイル］→［ディスクツール］→［ディスクコピー］→［実行］の順に選択する。**

「アクセス中」と表示されます。

3 **「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。**

4 **「ディスク挿入」と表示されたら、コピー先のフロッピーディスクを入れる。**

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは、［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**4**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返します。

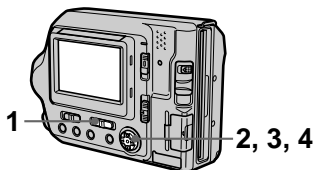
手順の途中で中止するときは

［中止］を選択します。

ご注意

「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選択しないでフロッピーディスクを取り出して、もう1度入れると、そのフロッピーディスクにディスクコピーされてしまいます。

プリントしたい静止画を選ぶ ー プリントマーク

撮影した静止画の中からプリントしたい画像を指定することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店で画像をプリントするときなどに便利です。

シングル画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、プリントしたい画像を表示する。**

2 **メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［入］の順に選択する。**

表示されている画像に（プリント）マークがつきます。

プリントマークを消すには

手順**2**で［切］を選択します。

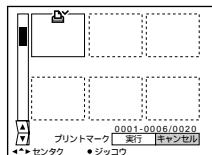
インデックス画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、インデックス表示画面にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［選択画像］の順に選択する。**

3 **プリントマークをつけたい画像をコントロールボタンで選択する。**

4 **［実行］を選択する。**

（プリント）マークが緑色から白色に変わります。

プリントマークを消すには

手順**3**でプリントマークを消したい画像をコントロールボタンで選び、［実行］を選択します。

すべての画像のプリントマークを消すには

メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［全画像］→［切］の順に選択します。
すべての画像の（プリント）マークが消えます。

マビカプリンターFVP-1でプリントするときは

プリンターのPRESET SELECT SWを「PC」にセットします。

ご注意

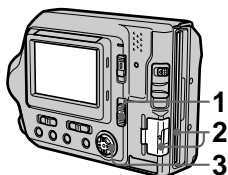
- 動画やテキストモードやクリップモーションで撮影した画像にはプリントマークは付けられません。
- TIFFモードで撮影した画像にプリントマークを付けると、非圧縮画像のみプリントされ、同時に記録されたJPEG画像はプリントされません。

フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を初期化する

ー フォーマット

初期化するとフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”の内容はすべて失われます。初期化する前に内容を確認してください。

ご注意

画像がプロテクトされていても消去されますのでご注意ください。

1 MS/FD**スイッチで初期化するメディアを選ぶ。**

2 **初期化したいフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れる。**

フォーマットするメディアのみ入れてください。

3 **メニューから［ファイル］を選択する。**

- **フロッピーディスク**を初期化するとき
  ［ディスクツール］→［フォーマット］→［実行］の順に選択する。
- **“ メモリースティック ”**を初期化するとき
  ［フォーマット］→［実行］の順に選択する。

初期化を中止するには

手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- **フロッピーディスク／“ メモリースティック ”**は必ず、**本機**で**フォーマット**してください。USB**接続したパソコンからはフォーマットできません。**
- 必ずバッテリーが満充電された状態か、ACパワーアダプターから電源をとっている状態で初期化してください。

本機をパソコンの外部ドライブとして使用する

USBケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、本機をフロッピーディスク/“メモリースティック”ドライブとして使用することができます。前もって付属のUSBドライバをインストールしておいてください（Windows 28ページ、Machintosh 35ページ）。

例：Windows 98、Windows 98SE、Windows 2000、Windows Me、Windows XPをお使いの場合

1 本機のMS/FDスイッチでドライブの種類を選ぶ。

フロッピーディスクドライブとして使用するときは、「FD」にします。

“メモリースティック”ドライブとして使用するときは、「MS」にします。

2 ACパワーアダプターを接続して、本機の電源を入れる。

3 専用USBケーブルを使ってパソコンに接続する。

4 Windows上で「マイコンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」のアイコンを確認し、外部ドライブとして使用する。

ご注意

- Windows 2000、Windows Me、Windows XPをお使いの場合は、31ページの説明もあわせてご覧ください。
- お使いのパソコンによってドライブ番号（(D:)など）は異なることがあります。
- Mac OS X(v10.0/v10.1)をお使いの場合は、“メモリースティック”使用時のみUSB接続できます。フロッピーディスクの内容を“メモリースティック”にコピーしてからお使いください。（80ページ）

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください 。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

動作温度について

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取り出してください。電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機をACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切った状態にして24時間以上放置する。

" メモリースティック "について

" メモリースティック "は、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
" メモリースティック "には、一般の" メモリースティック "、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載した" マジックゲート メモリースティック "の2種類があります。
本機では" マジックゲート メモリースティック "と一般の" メモリースティック "のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

* " マジックゲート "とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

ご注意

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめます。
- データの読み込み中、書き込み中には" メモリースティック "を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中、書き込み中に" メモリースティック "を取り出したり、本機の電源を切った場合
  – 静電気やノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

"Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK™、"MagicGate Memory Stick"("マジックゲートメモリースティック")およびMGはソニー株式会社の商標です。
"マジックゲート"および"MAGICGATE"はソニー株式会社の商標です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

"インフォリチウム"バッテリーは、本機やACアダプター/チャージャー(別売り)との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。ACアダプター/チャージャー(別売り)を使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の環境で、POWER ON/OFF(CHG)ランプが消える(満充電)まで充電することをおすすめします。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くかバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  - 高容量バッテリー「NP-F550(別売り)」を使用する。
- 液晶画面の使用やズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-F550(別売り)」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしてください。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告するマークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。
  本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、フロッピーディスクおよび“メモリースティック”を入れずに再生状態で電源が切れるまでそのままにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。
液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。96ページをご覧ください。

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーを使う（7ページ）。
	フロッピーディスクの位置がずれている。	フロッピーディスクを取り出して入れ直す（14ページ）。
	バッテリーが残り少ない（表示が出る）。	バッテリーを満充電する（8ページ）。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN端子とコンセントにしっかり差し込む（8、11ページ）。
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後に電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない。	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」になっている。	「STILL」または「MOVIE」にする（16、21ページ）。
	フロッピーディスクが入っていない。	フロッピーディスクを入れる（14ページ）。
	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。	書き込み可能にする（14ページ）。
	“メモリースティック”が入っていない。	“メモリースティック”を入れる（15ページ）。
	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを解除する。
ピントがあっていない。	3 cm～25cmで撮影するときに、マクロ撮影モードになっていない。	• マクロ撮影モードにする（67ページ）。 • ズームレバーで広角（W側）にする。
リサイズができない。	動画、テキスト画像、クリップモーション画像、非圧縮画像はリサイズできない。	–

症状	原因	処置
プリントマークが付かない。	動画、テキスト画像、クリップモーション画像にはプリントマークを付けることができない。	―
ノイズが入る。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	逆光になっている。	画像の明るさを調節する（70ページ）。
	液晶画面が暗い。	液晶画面の明るさを調節する（18ページ）。
フラッシュ撮影ができない。	設定が⊘になっている。	（表示なし）または◉、⚡に設定する（20ページ）。
	プログラムAEの「夜景」または「夜景プラス」、「風景」モードになっている。	解除する（68ページ）。 または⚡に設定する（20ページ）。
	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「MOVIE」になっている。	「STILL」にする。
正しい撮影日時が記録されない。	日付・時刻を合わせていない。	日付・時刻を合わせる（12ページ）。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いた画像になる。	スミアという現象。	故障ではありません。
ズームが効かない。	プログラムAEがパンフォーカスモードになっている。	解除する（68ページ）。
デジタルズームが効かない。	動画撮影中はデジタルズームが使えない。	―
	デジタルズームが[切]になっている。	メニューで[デジタルズーム]を[入]にする。
画像が白黒になっている。	テキストモードになっている。	通常撮影モードに戻す（65ページ）。
	ピクチャーエフェクトのモノトーンモードになっている。	ピクチャーエフェクトを解除する（72ページ）。
パソコンで再生できない。	―	パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
パソコンで再生すると動画が途切れる。	フロッピーディスクまたは“メモリースティック”から直接再生している。	パソコンのハードディスクにコピーをして、ハードディスクのファイルを再生する（32、37ページ）。

症状	原因	処置
画像を消去できない。	プロテクトされている。	プロテクトを解除する(77ページ)。
電源が途中で切れる。	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。	電源を入れる。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを入れる。
テレビに画像が出ない。	本機の「ビデオ出力信号」の設定が正しくない。	設定を変える(59ページ)。
スライドショーが自動的に止まる。	フロッピーディスク使用時、スライドショーは約20分で止まる。	続けるときはもう1度[スタート]を選択する(75ページ)。
プログラムAEにならない。	テキストモードまたはPLAY/STILL/MOVIEスイッチが「MOVIE」になっている。	PLAY/STILL/MOVEスイッチを「STILL」にし、設定を変える(56ページ)。
マクロ撮影ができない。	プログラムAEのパンフォーカスモードになっている。	解除する(68ページ)。
パソコンとUSB接続ができない。	バッテリーが残り少ない。	ACパワーアダプターを使用してください(11ページ)。
	本機の電源が入っていない。	電源を入れる。
	USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する(30ページ)。
	パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。	キーボード/マウス以外は取りはずしてみてください。
	MS/FDスイッチが挿入しているメディアとあっていない。	MS/FDスイッチをメディアにあわせる。
	USBドライバがインストールされていない。	USBドライバをインストールする(28、35ページ)。
	(Windows 98、Windows 98SE、Windows 2000、Windows Meをお使いの場合)付属のCD-ROMから「USBドライバ」をインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、ドライブが正しく認識されていない。	正しく認識されなかったドライブを削除してから、USBドライバをインストールする。詳しくは「リムーバブルディスクが表示されない」(33ページ)の手順にしたがってください。

バッテリーパック

症状	原因	処置
バッテリーを充電できない。	本機の電源が入っている。	電源を切る（8ページ）。
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところで撮影／再生している。	ー
	充電が不充分。	満充電する。
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの残量表示が正しくない。または、バッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。	ー
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する（7ページ）。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを取り付ける（7、8ページ）。
	残量表示機能と実際の残量にズレが生じた。	満充電すると、残量表示機能が正しくなる（8ページ）。
バッテリー充電中、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点滅する。	バッテリーが故障している。	テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。
バッテリー充電中、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点灯しない。	ACパワーアダプターがはずれている。	電源をきちんと接続する（8ページ）。
	バッテリーが正しく取り付けられてない。	正しく取り付ける（7ページ）。
	充電が完了している。	ー

警告表示について

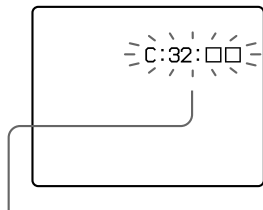
液晶画面には次のような表示が出ます。説明にしたがいチェックしてください。

表示	意味
ドライブエラー	フロッピーディスクドライブの異常。
システムエラー	電源を入れ直す。
ディスクがありません	フロッピーディスクが入っていない。
メモリースティックがありません	“ メモリースティック ”が入っていない。
フォーマットエラー	• MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)以外のフロッピーディスクが入っている。 •“ メモリースティック ”が正しくフォーマットされていない。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターが挿入されている。
メモリースティックエラー	本機では使えない“ メモリースティック ”が入っている。 または、“ メモリースティック ”が壊れている。 “ メモリースティック ”が正しく挿入されていない。
ディスクがプロテクトされています	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっている。
メモリースティックがロックされています	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。
ディスクがいっぱいです	フロッピーディスクの容量がいっぱいで記録できない。
メモリースティックの残量がありません	“ メモリースティック ”の空き容量が足りないので記録できない。
ファイルがありません	画像が記録されていない。
ファイルエラー	画像再生時の異常。
ファイルがプロテクトされています	画像に誤消去防止がかけられている。
ディスクエラー	2DDのフロッピーディスクが挿入されている。またはフロッピーディスクの異常。
ディレクトリエラー	同じディレクトリが存在する。
コピーできる容量を超えています	コピーしようとしているファイルサイズが大きすぎて本機ではコピーできない。
画像サイズオーバーです	本機で再生できるサイズより大きい画像を再生しようとした。
無効な操作です	本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。

表示	意味
“ インフォリチウム ” バッテリーを使ってください。	“ インフォリチウム ”対応以外のバッテリーを使っている。
O━┳	画像に誤消去防止がかけられている。
⌂	バッテリーの残量が少ない。使用状況や環境、バッテリーパックによっては、残量時間が約5分から10分で⌂が点滅することがある。

その他

自己診断表示 ー アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。
表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示
- 「C:□□:□□」
  お客さま自身で対応できる内容
- 「E:□□:□□」
  テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせしていただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	フロッピーディスクドライブの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	初期化していないフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を入れた。	初期化する。（84ページ）
	本機では使えないフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を入れた。 データが壊れている。	フロッピーディスクまたは“メモリースティック”を交換する。（14、15ページ）
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。その際は、表示をすべてお知らせください。 例：E:61:10

「C:□□...」から始まる表示が出たときは、上記の操作を2、3度繰り返してください。それでも正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

主な仕様

システム

撮像素子
6.64 mm（1/2.7型）
カラーCCD
カメラ有効画素数
MVC-FD100:
約1 228 000画素
MVC-FD200:
約1 976 000画素
レンズ
3倍ズームレンズ
f＝6.4～19.2 mm
（35 mmカメラ換算では41～123mm）
F3.8 ～ 3.9
露出制御
自動
ホワイトバランス
自動、屋内、屋外、ホールド
データ方式
動画　　MPEG
静止画　ＪＰＥＧ、
GIF（テキストモード、クリップモーション時）、
TIFF
MPEG
記憶媒体
3.5インチ　2HDフロッピーディスク（1.44 Mバイト）
“ メモリースティック ”
フラッシュ
ISO感度がオートのとき
推奨撮影距離 0.5 m ～ 2.0 m

入／出力端子

VIDEO OUT端子
ミニジャック
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
USB端子
mini-B

液晶画面

使用液晶パネル
6.2 cm（2.5型）
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
123 200（560×220）ドット

電源・その他

使用バッテリー
NP-F330（付属）/
NP-F550（別売り）
電源電圧バッテリー端子入力
7.2 V
消費電力(撮影時、LCDバックライトオン時)
MVC-FD100：3.5W
MVC-FD200：3.6W
動作温度
0 ℃ ～ ＋40 ℃
保存温度
–20 ℃ ～ ＋60 ℃
最大外形寸法
142×104×77 mm
（幅×高さ×奥行）
本体質量
645g
（バッテリーNP-F330、フロッピーディスク、レンズキャップなど含む）

ACパワーアダプターAC-L10A

電源
AC100～240 V、50/60 Hz
定格出力
DC8.4 V、1.5 A
動作温度
0 ℃～＋40 ℃
保存温度
–20 ℃～＋60 ℃
最大外形寸法
125×39×62 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量
約280 g

バッテリーNP-F330

使用電池
リチウムイオン蓄電池
最大電圧
DC8.4 V
公称電圧
DC7.2 V
容量
5.0 Wh（700 mAh）
動作温度
0 ℃ ～ ＋40 ℃
最大外形寸法
38.4×20.6×70.8 mm
（幅×高さ×奥行）
本体質量
約70 g

付属品

ACパワーアダプター
AC-L10A（1）
電源コード（1）
USBケーブル（1）
バッテリーパックNP-F330（1）
ビデオ接続ケーブル（1）
ショルダーベルト（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップ用ひも（1）
CD-ROM（SPVD-008 USBドライバ）（1）
取扱説明書（1）
安全のために（1）
保証書兼カスタマーご登録はがき（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスク、“ メモリースティック ”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“ 故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

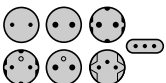
部品の保有期間について

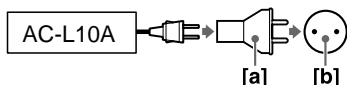
当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

海外で使うとき

本機は海外でもお使いになれます

- 付属のACパワーアダプターは、全世界の電源(AC100 V〜240 V・50/60 Hz)でお使いいただけます。
- バッテリーの充電もできます。

海外でお使いになるには

- 上図のように、付属のACパワーアダプターを差し込む**変換プラグアダプター**[a]が必要な場合があります。
- 変換プラグアダプター／**電源コンセント**[b]の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

海外のコンセントの種類

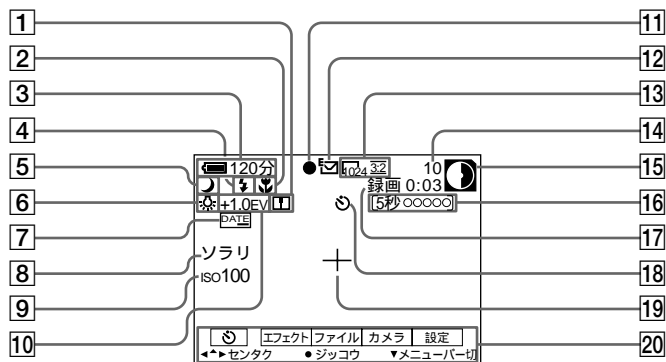
壁のコンセントの形状例	使用する変換アダプター
主に北米、南米など	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。
主にヨーロッパなど	

ご注意

電子式変圧機（トラベル・コンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

その他

画面表示

撮影時

1 **シャープネス表示**

2 **マクロ表示／手動ピント合わせ表示**

3 **バッテリー残量表示**

4 **フラッシュレベル表示／フラッシュモード表示**

5 **プログラム AE表示／ズーム表示**

6 **ホワイトバランス表示**

7 **日付／時刻表示**

8 **ピクチャーエフェクト表示**
これらの表示は操作時のみ表示されます。

9 ISO**感度表示**

10 EV**補正表示**

11 AE/AF**ロック表示**

12 **撮影モード／クリップモーション表示**

13 **画像サイズ表示**

14 **撮影枚数表示**

15 **ディスク／“メモリースティック”残量表示**
◐：フロッピーディスク
▯：“メモリースティック”

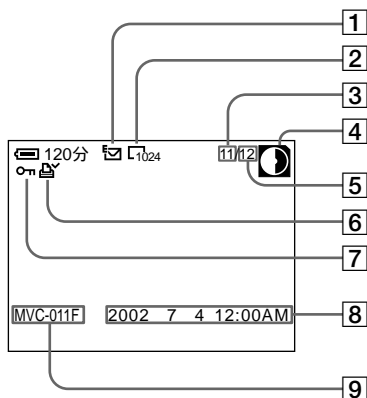
16 **動画録画時間表示**

17 **自己診断表示／記録時間表示**

18 **セルフタイマー表示**

19 **スポット測光照準**

20 **メニューバー／ガイドメニュー**
コントロールボタンの▲を押すと表示されます。▼を押すと消えます。

静止画再生時

1 撮影モード／クリップモーション表示

2 画像サイズ表示

3 画像番号

4 ディスク／“ メモリースティック ”残量
 ：フロッピーディスク
 :“ メモリースティック ”

5 フロッピーディスク／“ メモリースティック ”記録枚数

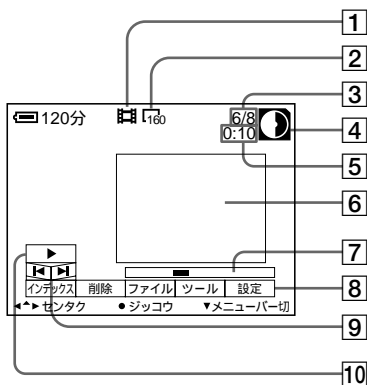
6 プリントマーク表示

7 プロテクト表示／ズーム倍率表示

8 画像の記録日時表示*

9 ファイル名*

* メニューバーを表示しているときは消えます。

動画再生時

1 撮影モード表示

2 画像サイズ表示

3 画像番号／フロッピーディスク／“ メモリースティック ”記録枚数

4 ディスク／“ メモリースティック ”残量
 ：フロッピーディスク
 :“ メモリースティック ”

5 カウンター

6 再生画像

7 再生バー

8 メニューバーとガイドメニュー

9 画像送りボタン

10 再生スタート／一時停止ボタン
▶：停止中
❚❚：再生中

その他

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

その他

カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマー登録および登録内容の変更はこちらのホームページから

http://www.sony.co.jp/di-regi/

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク

電話：　**03-5977-7255**
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、最新サポート情報をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合は、「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。
また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便にて集荷にうかがいますので、まずお電話ください。

電話：　**0564-62-4979**
受付時間：**月～金曜日　午前9時～午後5時**
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お電話の前に以下の内容をご用意ください。
① お客様のカスタマーID
（既にカスタマーご登録されたお客様にはカスタマーIDが発行されています。）
② 本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③ 本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

サイバーショットオフィシャルWEBサイト http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。撮影方法やアクセサリー情報、パソコン接続に関する情報を掲載しています。

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan